

女スパイ ネル

変態マッドサイエンティストの
実験体にされたカラダ

乳首責め、
電気責め、
母乳体質化、
乳首イキ







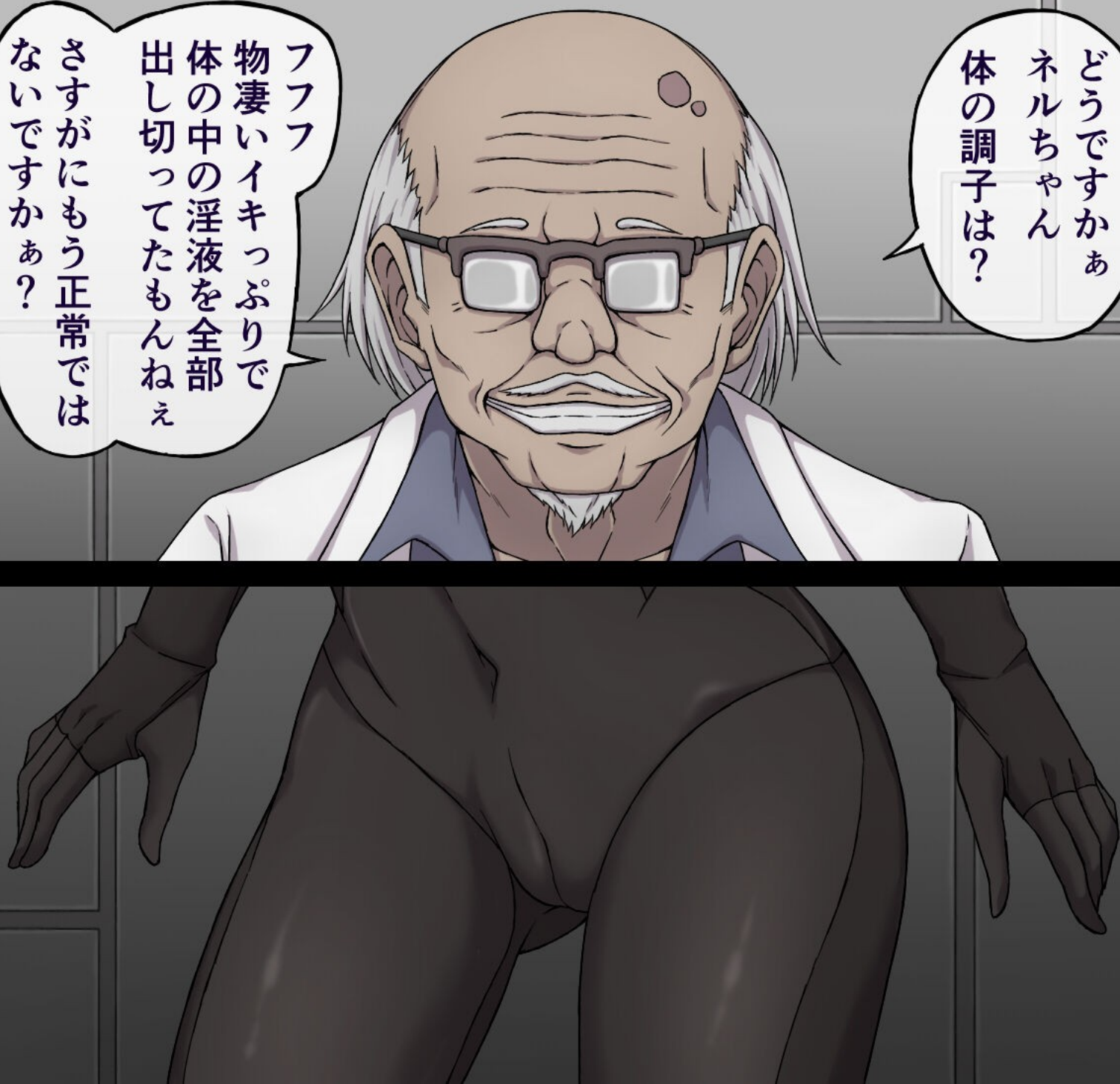




どうですかあ
ネルちゃん
体の調子は？

フフフ
物凄いイキっぷりで
体の中の淫液を全部
出し切ってたもんねえ

さすがにもう正常では
ないですかあ？



か：体はもう正常よ
前のような疼きはない
アナタにしか治せない
ものだったろうし
その点は感謝してるわ

でも…
アナタが私にしたことは
許すつもりないから…!!



私は以前
スパイとしてとある
研究施設に潜入した
その時そこで遭遇した
おぞましい生物兵器…

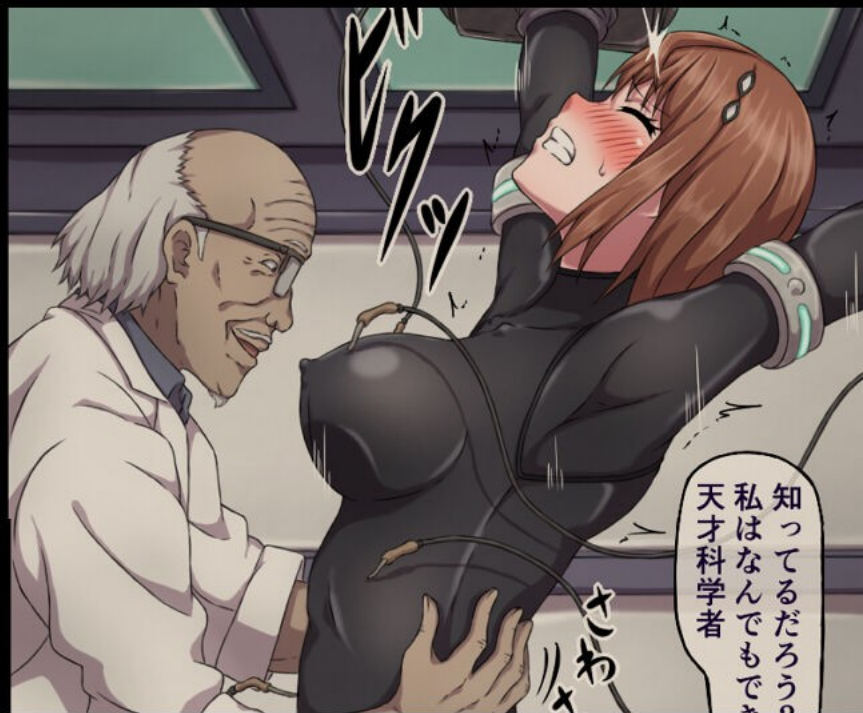
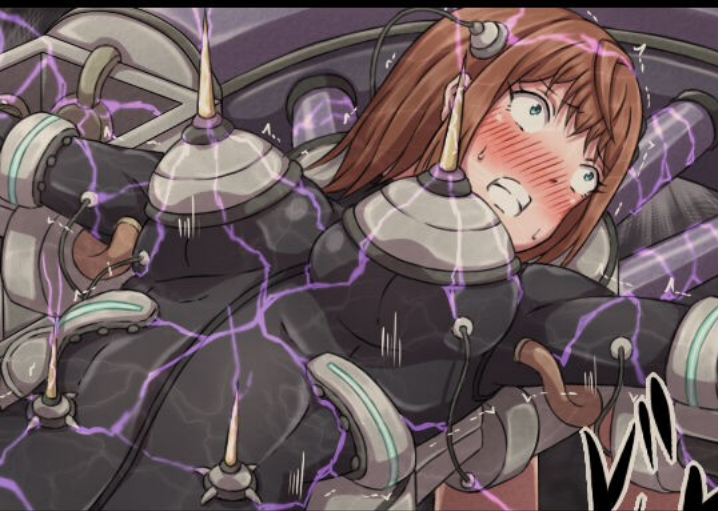
私はそいつらから体内へ
大量の淫液を注入され
てしまい…
少しの刺激でも性的
興奮を引き起こす程の
淫らな体に変え
られてしまった



そとと
潜

そんな体を正常に
治す為私のボスは
このマッドサイ
エンティストに
頼るしかなく…

私はコイツから
治療という名目の
快楽拷問のような
人体実験を好き放題に
施されてしまった…



ま、許さないって
言ってもこれは私の
ボスからアナタへの
依頼の中で起きたこと…
そして私の体は
正常に戻った

元はと言えば私の前の
任務のヘマが原因だし
この件をこれ以上私の
私怨を持ち込んでまで
長引かせるつもりは
ないわ

これで
キレイサッパリ
私達とアナタの
関係は終わり
もう二度と会うこと
もないでしょう

じゃ、こんなところ
さっさと失礼させ
てもらおうわ



冷たいじゃないの〜
ネルちゃん

あんなにお互い
キモチ良く体を
重ね合わせた仲
じゃないかあ

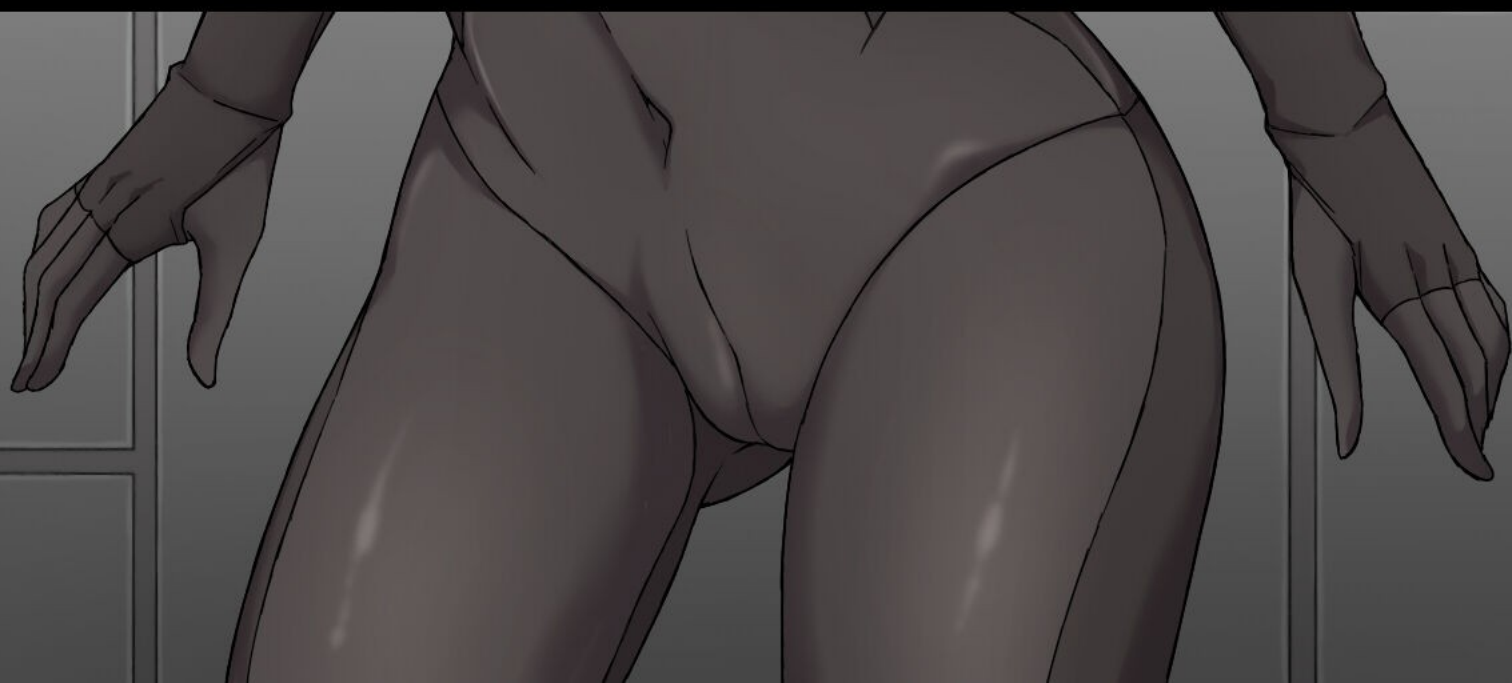
…ッ！
言葉を慎みなさい
このヘンタイ……！！

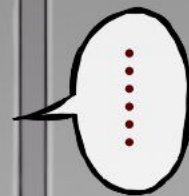
アナタと私は
もうビジネス上の
関係じゃない

私が今ここでアナタを
手に掛けてもいいのよ……！！

おおー怖い怖い
ちよつと興が乗って
やり過ぎちゃったのは
認めるよ

お詫びとして今着ている
そのラバースーツを
プレゼントするよ





フフフ…
どうだい着心地は？

治療の後ネルちゃんが
気を失っている内に
サービスでパットと
作り上げたんだ

ネルちゃんのカラダに
凄くフィットし特殊な
効果ももたらす特別
スーツだよお？



まあ…
悪くはないわね

たしかに
今まで着てきた
どのスーツよりも
軽くて動きやすい…

アナタが作った
スーツを着させ
られるなんて
正直キモチ悪いけど

まるで
何も着ていない
ような感じ…

それに
体の感覚がいつも
より研ぎ澄ま
されてるような…

スーツ越しに
周囲の空気の
質感が
伝わってくる

これがこの
スーツの
特殊効果なの
かしら



まあアナタの科学者
としての技術は
認めてる

技術に対して嘘は
付かないだろうし
これは貰っておいて
あげるわ

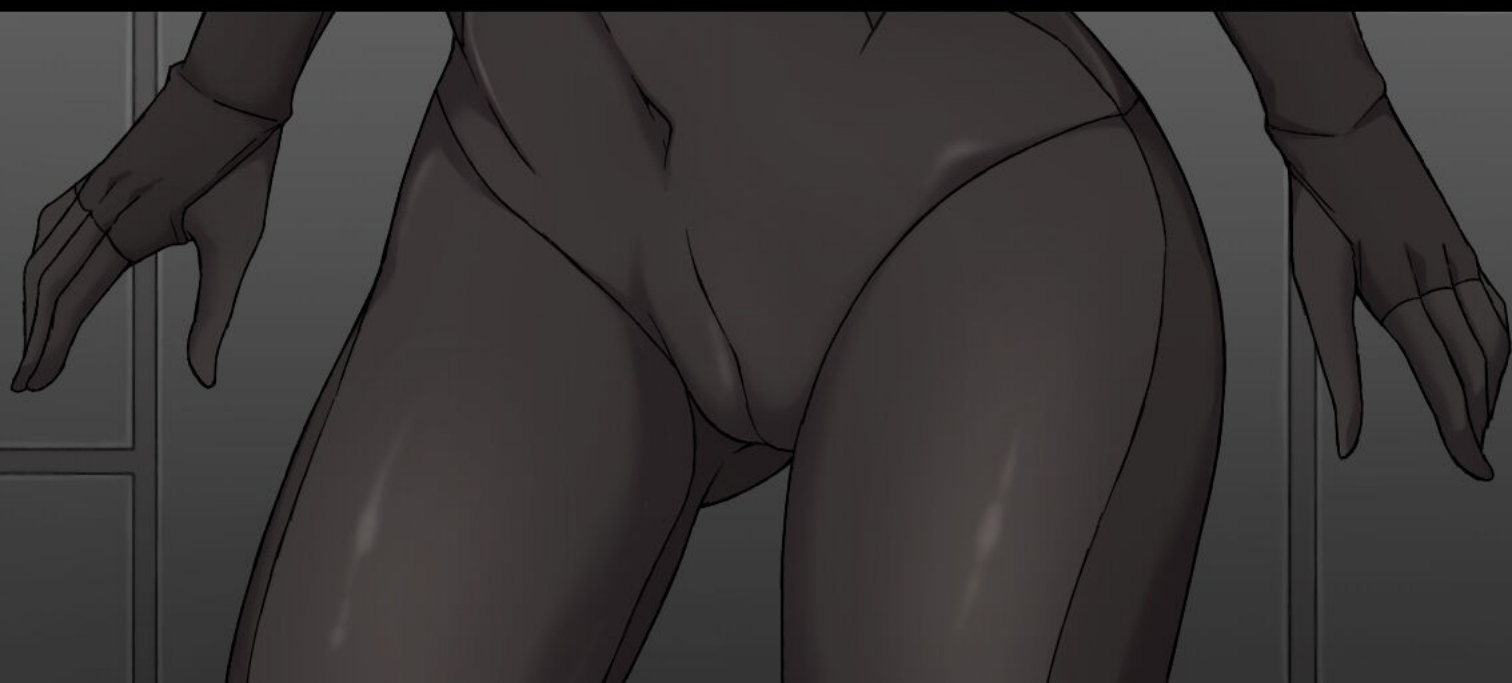
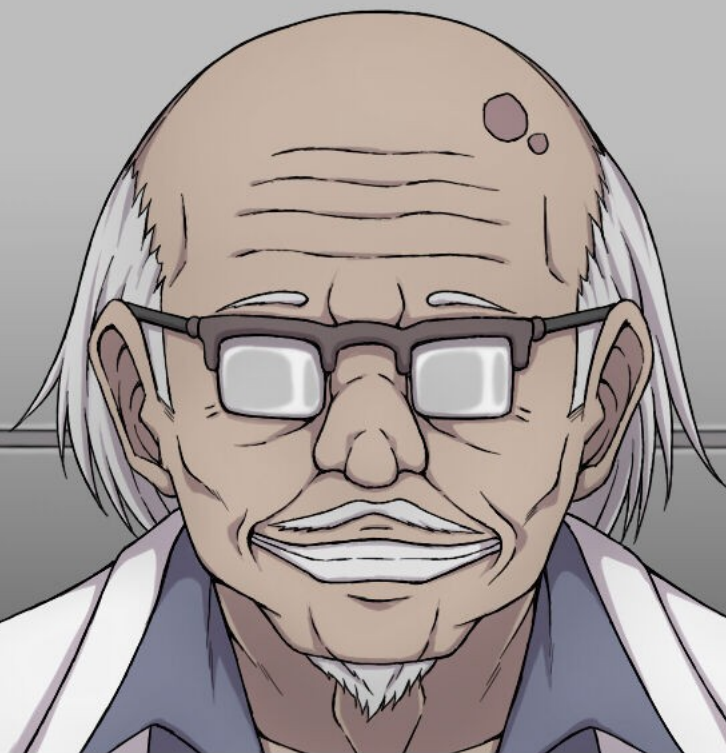
じゃ
これで本当に
さようなら





そう：
これでも
ワタシは科学者としての
プライドはあるんだ

そのスーツに付与させた
特殊効果については
まだまだ実験不足でねえ





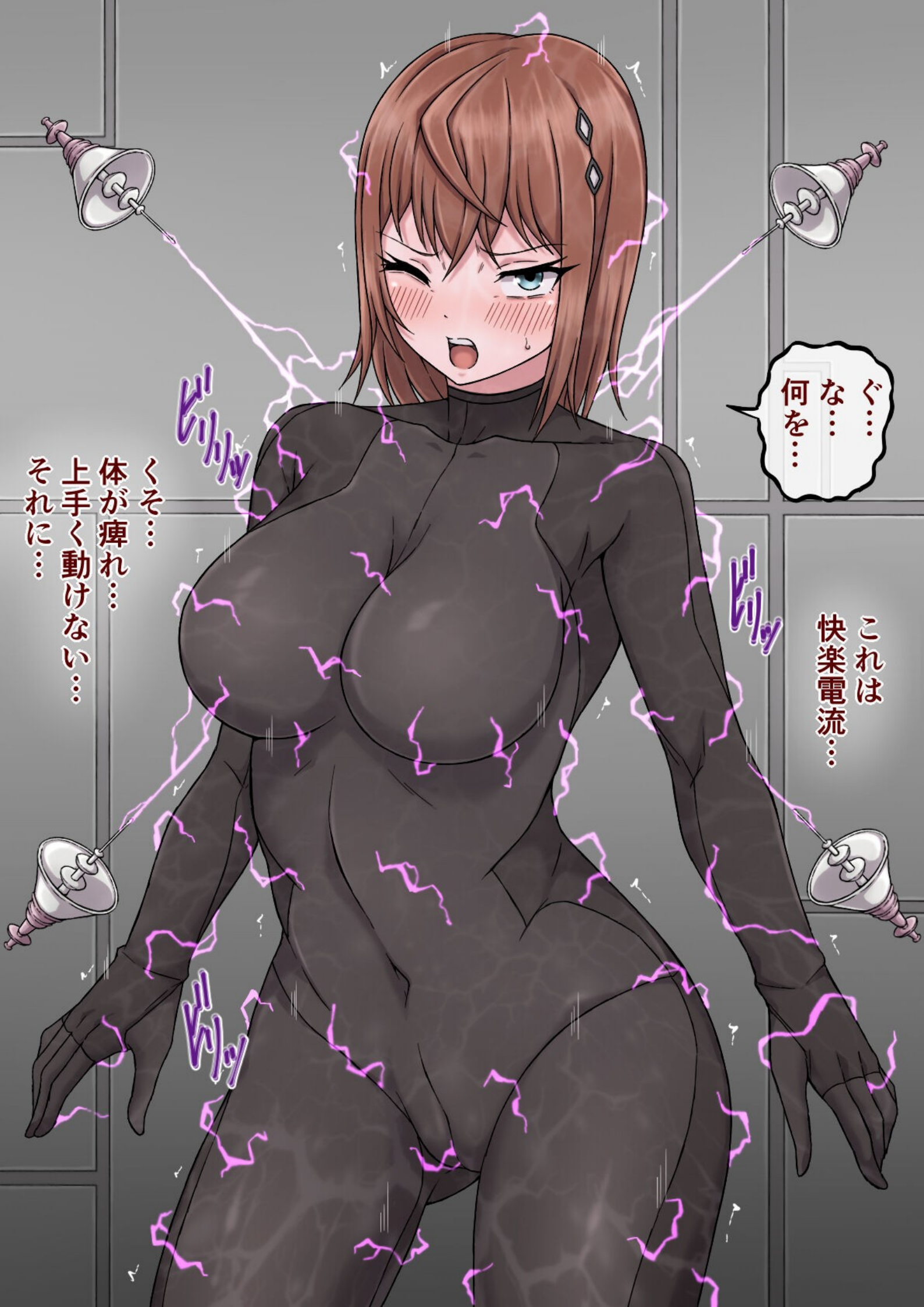
まだまだ
付き合ってもらおうよお
ネルちゃん

!?

V V V



ああアツ!!



ぐ…
な…
何を…

これは
快楽電流…

くそ…
体が痺れ…
上手く動けない…
それに…

感じ過ぎる…!!

ぐっ…

んう…っ!

おやおや
さっそくいやらしく
反応してるじゃないか

乳首が隆起して
アソコが濡れて
きているよお?

うう…!!

いれ…

いれ…

コイツまだ…
私の体を
弄ぶ気なの…!?

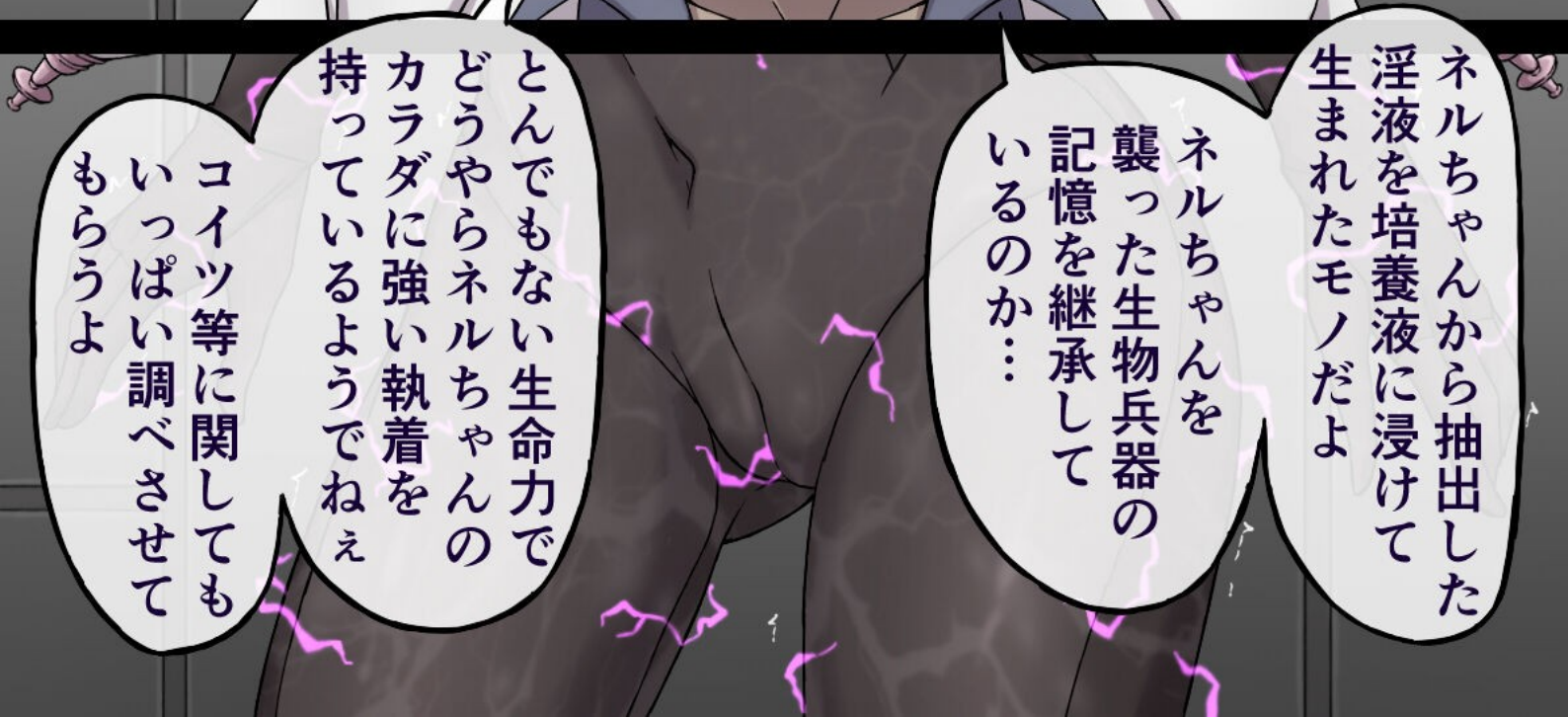
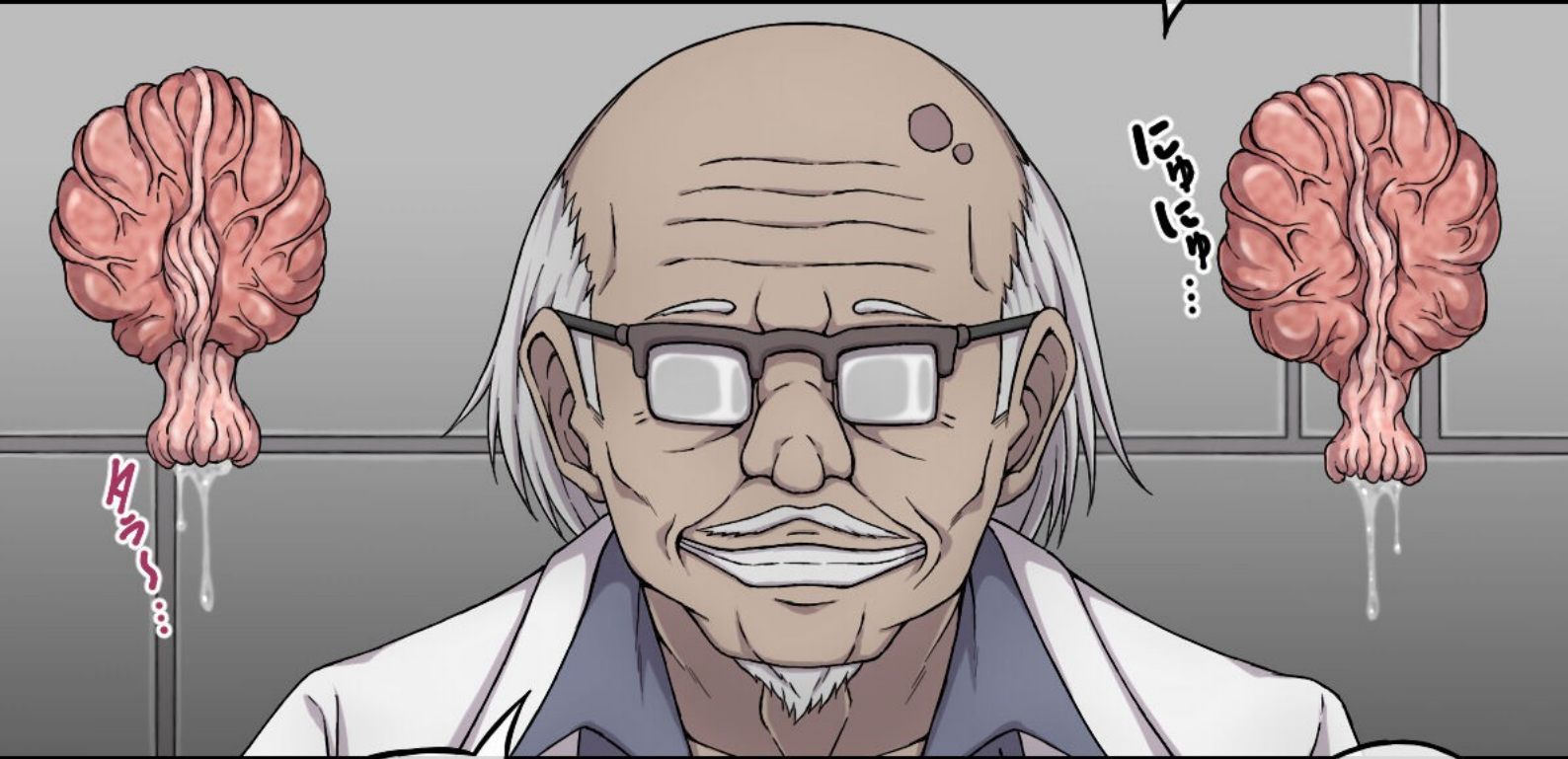
フフフ
もう分かっていると
思うけどそのスーツは
体の感度を鋭敏に
する特殊効果があるのさ

ふざけた
ことを…ッ！

ネルちゃんの治療で
抽出した淫液を解析する
ことで開発出来たんだ

なに性的感度も
上がったちゃうけどその優れた
触覚はスパイとしてとても有用な
能力になるから感謝してよねえ







ネルちゃんの
カラダを使ってね♥

やめろッ……!!

べっかちゅん



く...
はあ...!!

この感触...
また淫液を...

とろお...

とろ...

はア...

はア...

ぞろっ

吐息が漏れて
きたねえ...

もう既に
そんな
キモチイ
のかい？

ああ…ッ！

はッ…！

ぎゅっ

とろ…

とろ…

ほらほら
いやらしい液体が
たくさん滴ってるよお？

フフ…
ここからはもう
ワタシのただの
道楽だ

とろ…

ぎゅっ

治療としてじゃなく
純粹にワタシの実験体
として可愛がって
あげるからねえ
ネルちゃん♡



くそ...!
そう簡単に...

!?

ガッ
グッ



やめろッ!



そうだよねえ
ネルちゃんは優秀な女スパイ
だから油断できないからね

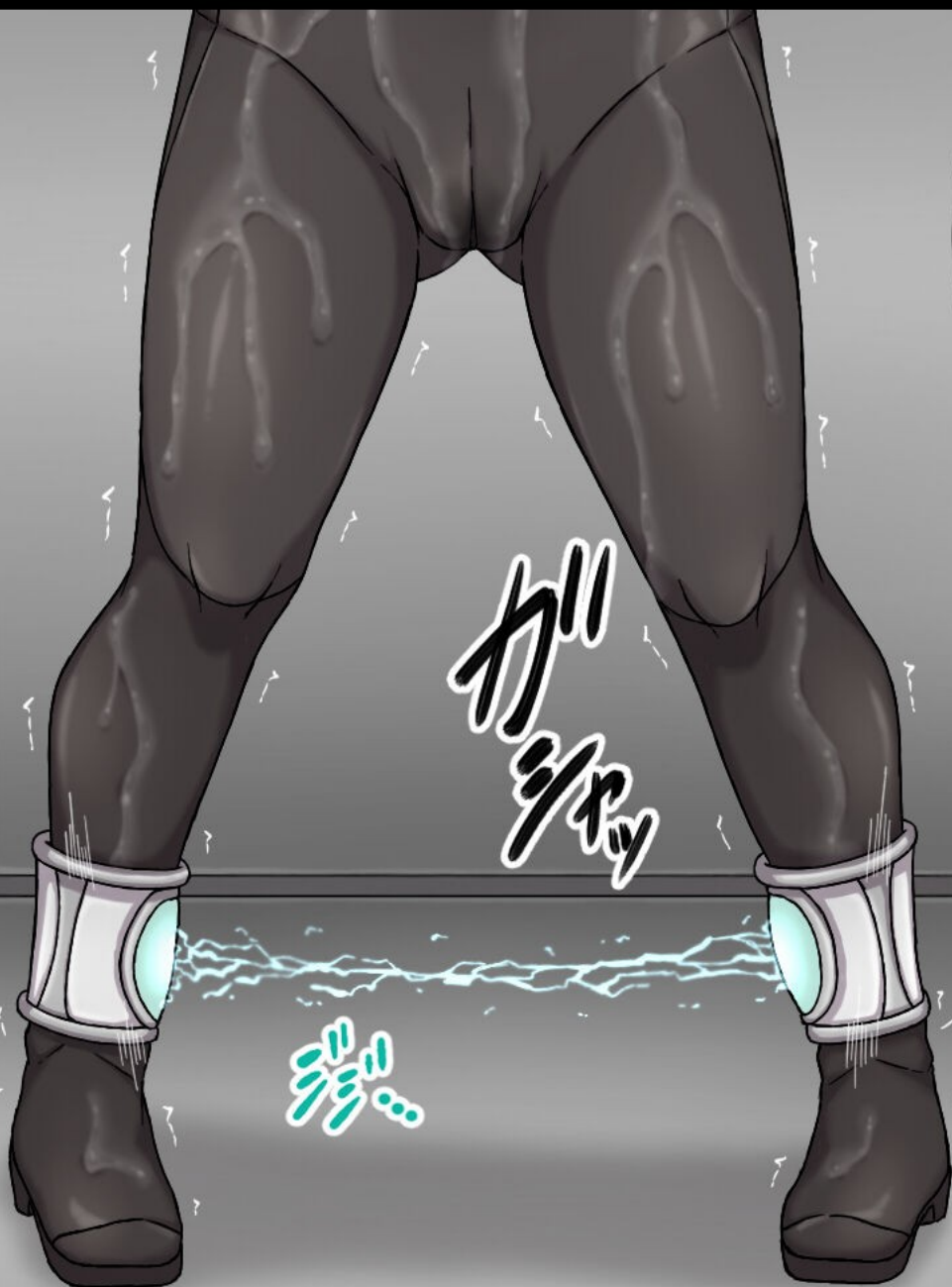


カラダを
しっかり拘束
させてもらおうよ

さあ
楽しい楽しい
実験のスタートだ♥

が
シヤッ

ジジ...



ハア…ハア…
こんなことして…
アンタただじゃ
済まないわよ

もう絶対に
許さない
から…ッ!

フフフ
だったら少しは
抵抗しなよ

そんな拘束
キミなら
大した事ないだろう?

な…なに脱いで…!!

グヒヒ…
さてさて…

ち…
近寄らないで!!



おおー
これは凄い
感度だ

んんううッ!!

スーッと
快楽電流：
それに淫液で
体の感度は
最大限まで
研ぎ澄まされ
ている感じ
だねえ

さわ

さわ



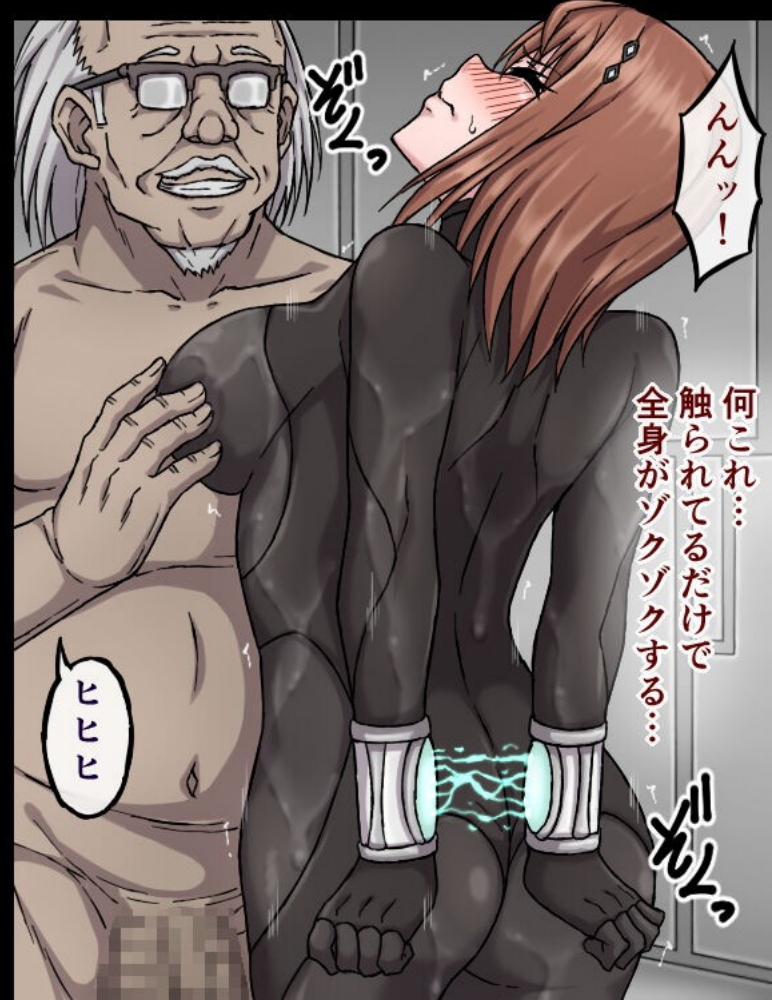
くそ…
早くこの手足の
拘束を何とか
しないと…
これくらいなら
力づくで…

…ッ!



ああッ!

もみゅー♡

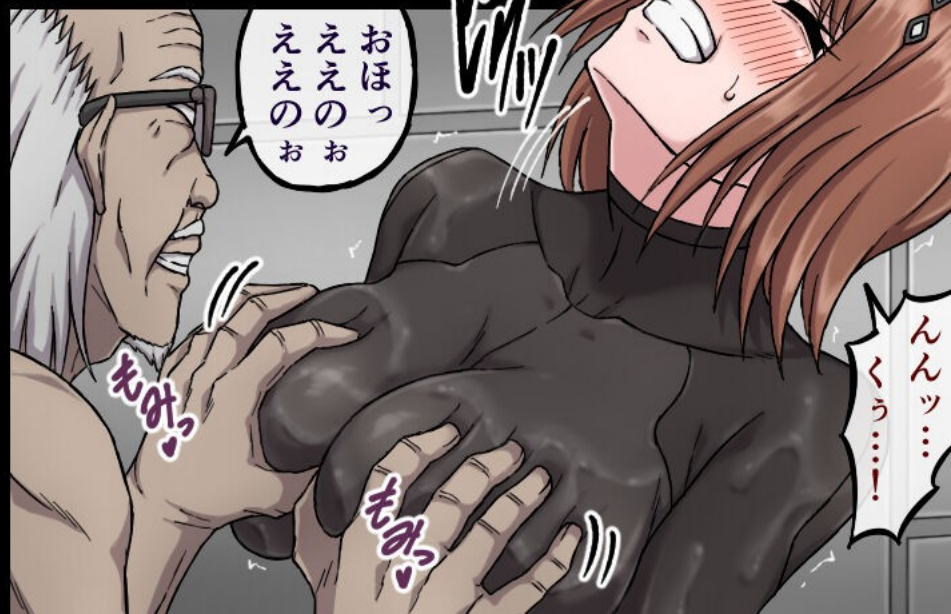


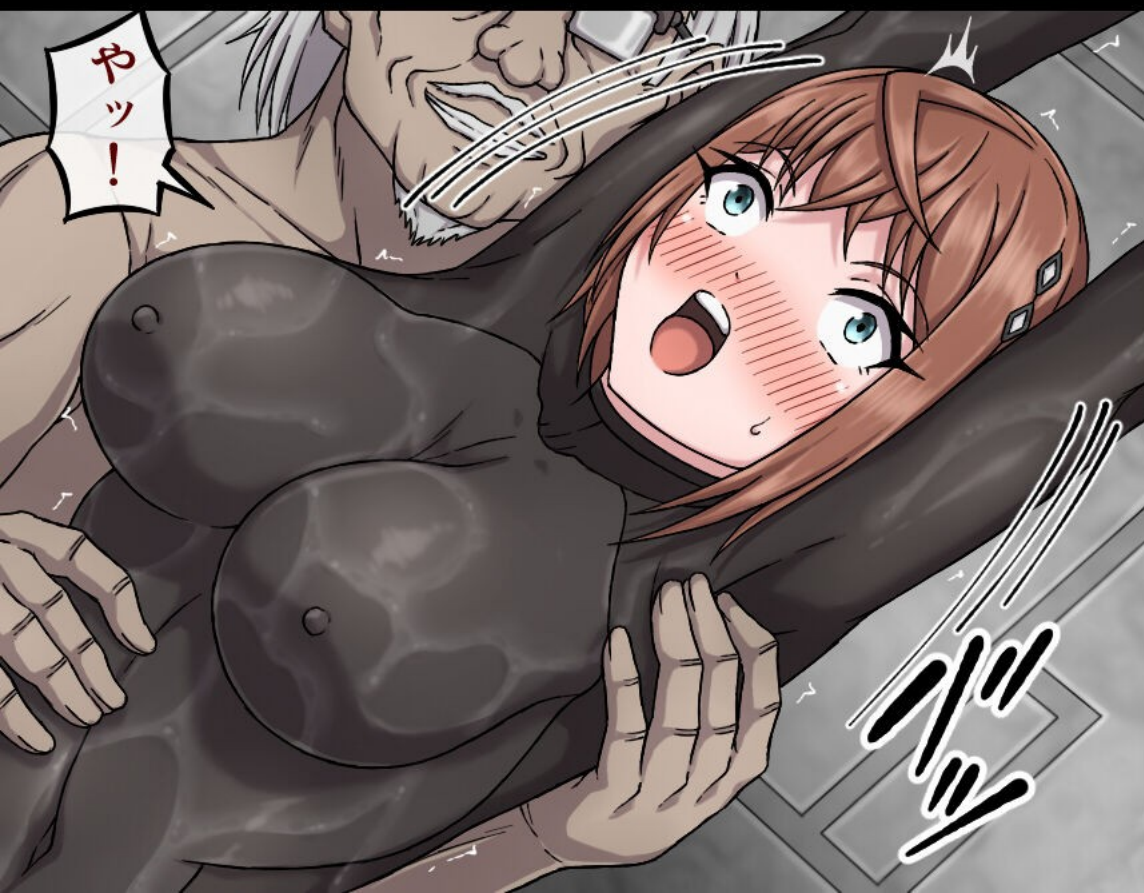
んんッ!

何これ…
触られてるだけで
全身がゾクゾクする…

ビビビ

んんッ!







ほおら
全身淫液で
ヌルヌルだねえ♡

キモチ
イイ？

体中
ビクビク
してるよ？

もう諦めて
快楽に素直に
なりなよお

ヌル...

くッ...!!

このッ...!!
ヘン...タイ!
んうう...ッ!!

わぁ♡

アッ♡

ビクッ

トロ...

ん♡

んみゅ

んみゅ

アッ...

ビクッ

誰が…ッ！



びん

フ
フ
フ

そんな態度でいると
もつともつといじめたく
なっちゃうよねえ

絶対に諦めな

ほおら
ネルちゃんの
すっごく敏感な夕

ク ク ク
リ リ リ
ク ク ク
リ リ リ

ん♡
ん♡ふ♡ん♡



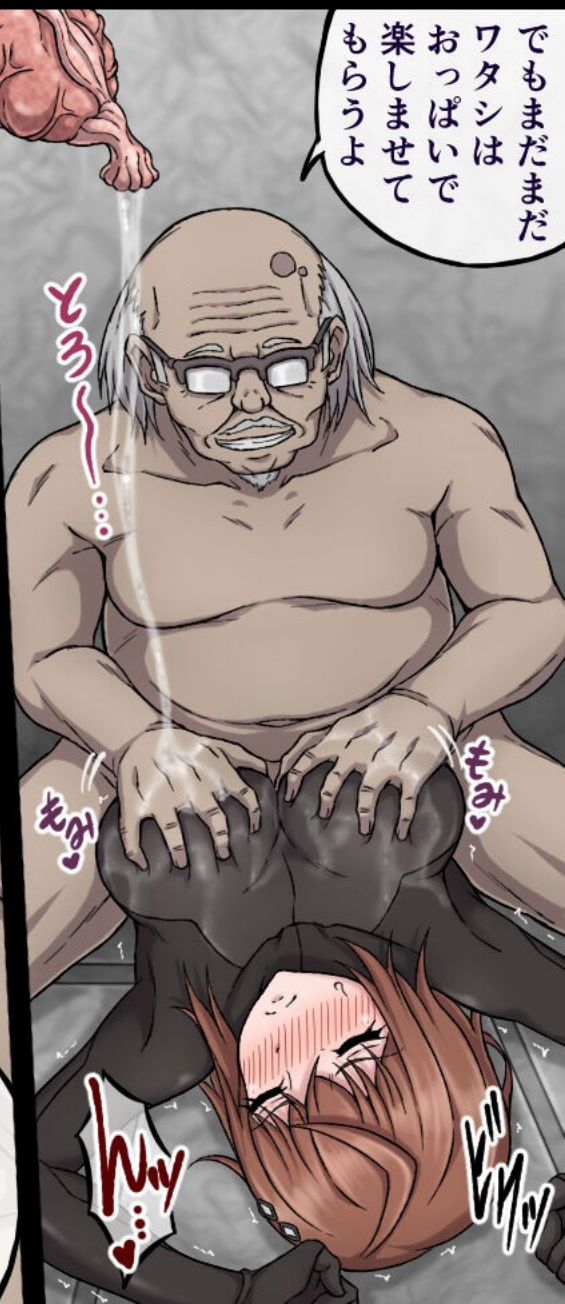
多

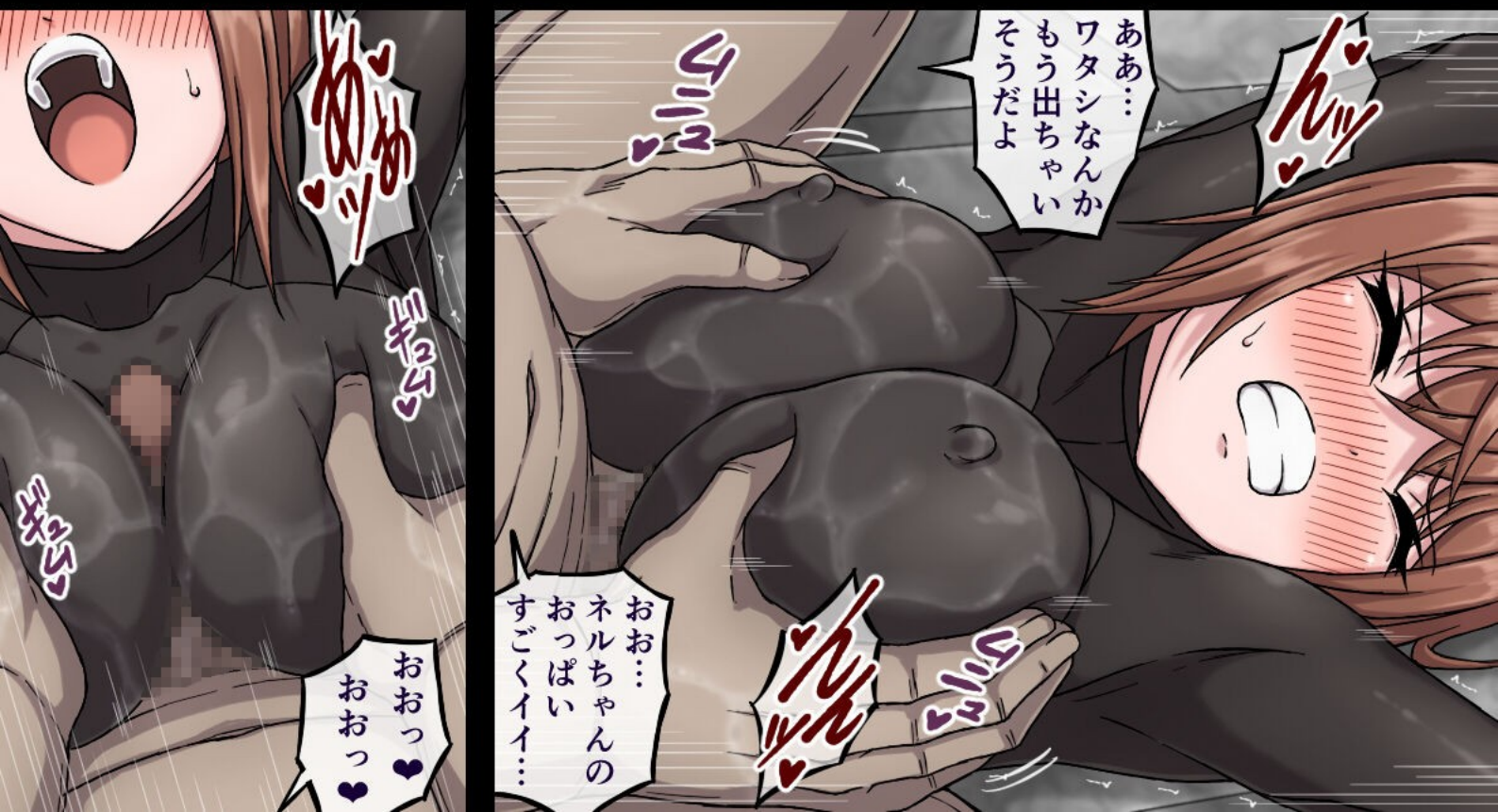


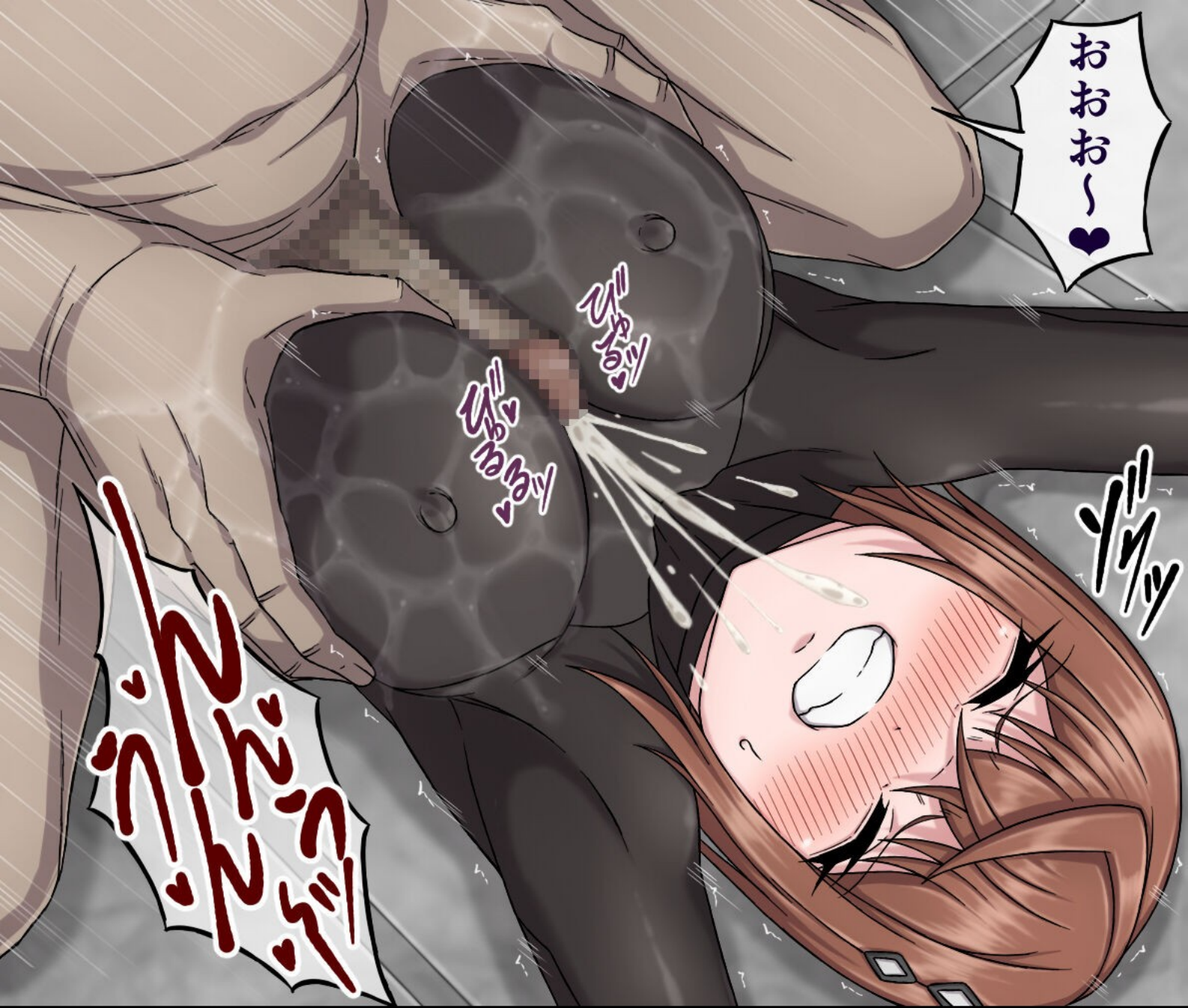












おおお〜♡

ひゅる♡

ひゅる♡

ひゅる♡

ひゅる♡



ひゅる♡

ひゅる♡

ひゅる♡

体は好き放題に
されても心はこの
ヘンタイマッド
サイエンティストに
屈しない…

フフフ…



ひゅる♡

ひゅる♡



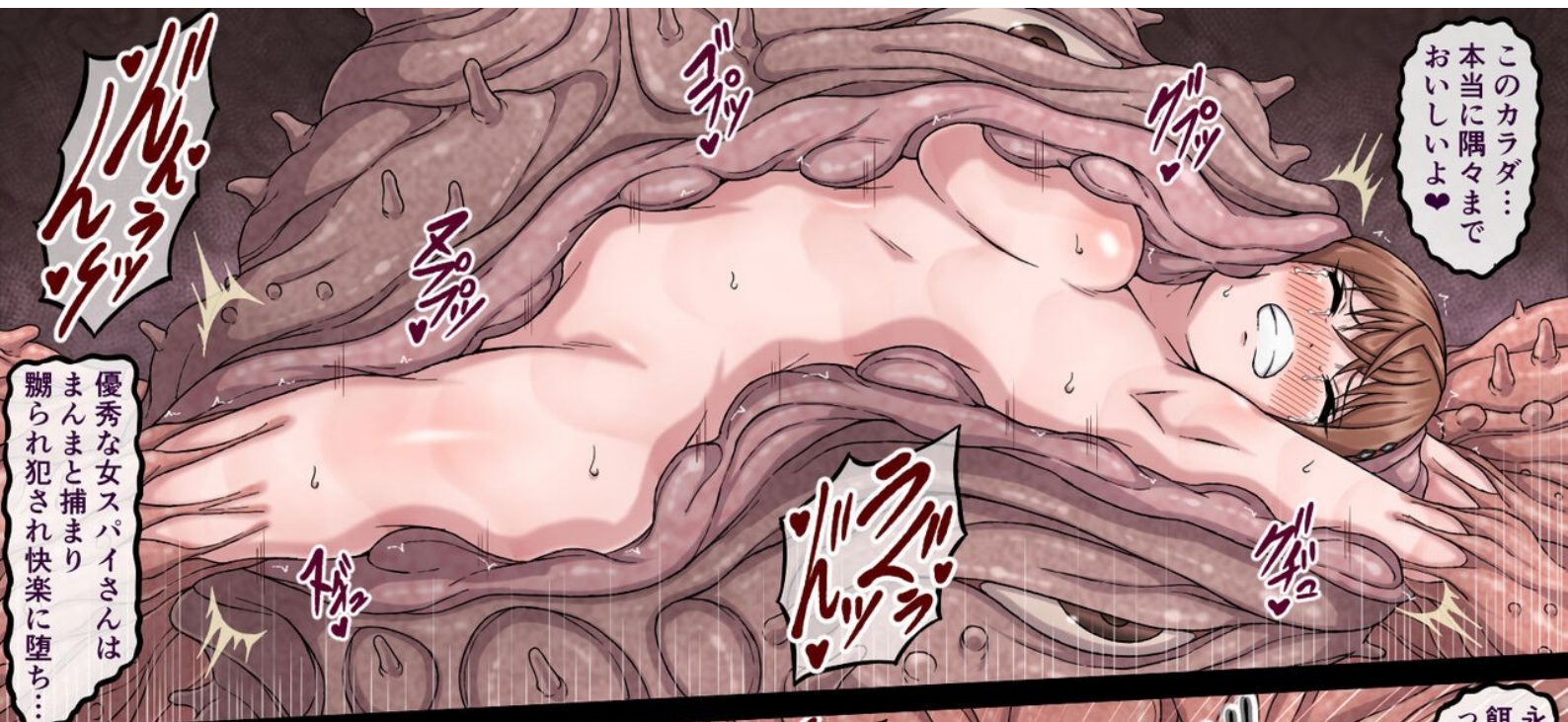
ハッスル



グヒヒ
口の中もおっぱいも
アソコも全部全部
犯し尽くしてやるよ

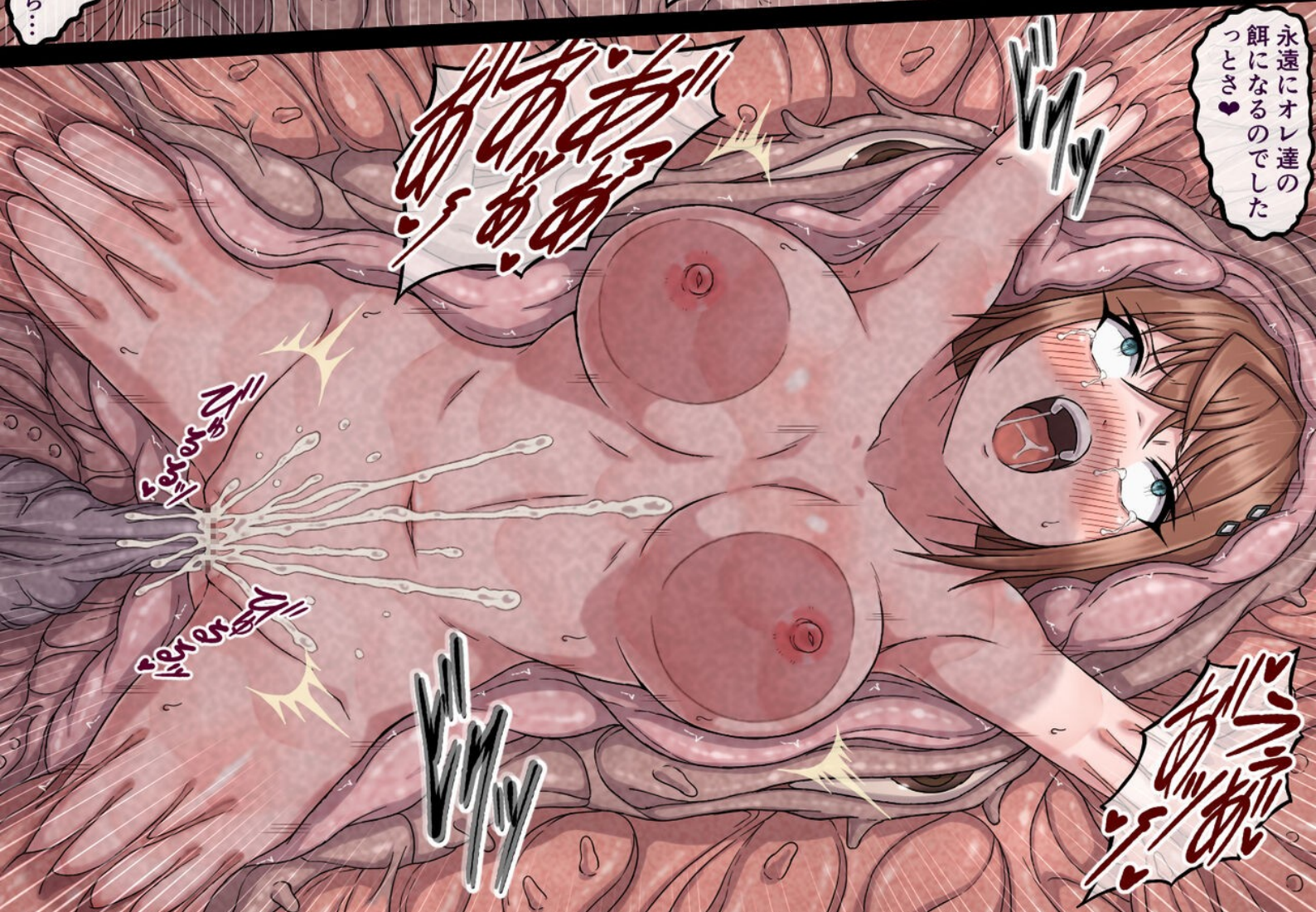
私への性的欲望を
満たせば満たす程
無限に増殖膨張する
この生物兵器に
私は為す術なく
ただ無様にイカ
され続けるだけ
になってしまっ
ていた...

ネルちゃんは
永遠にオレ達の
モノだ♡

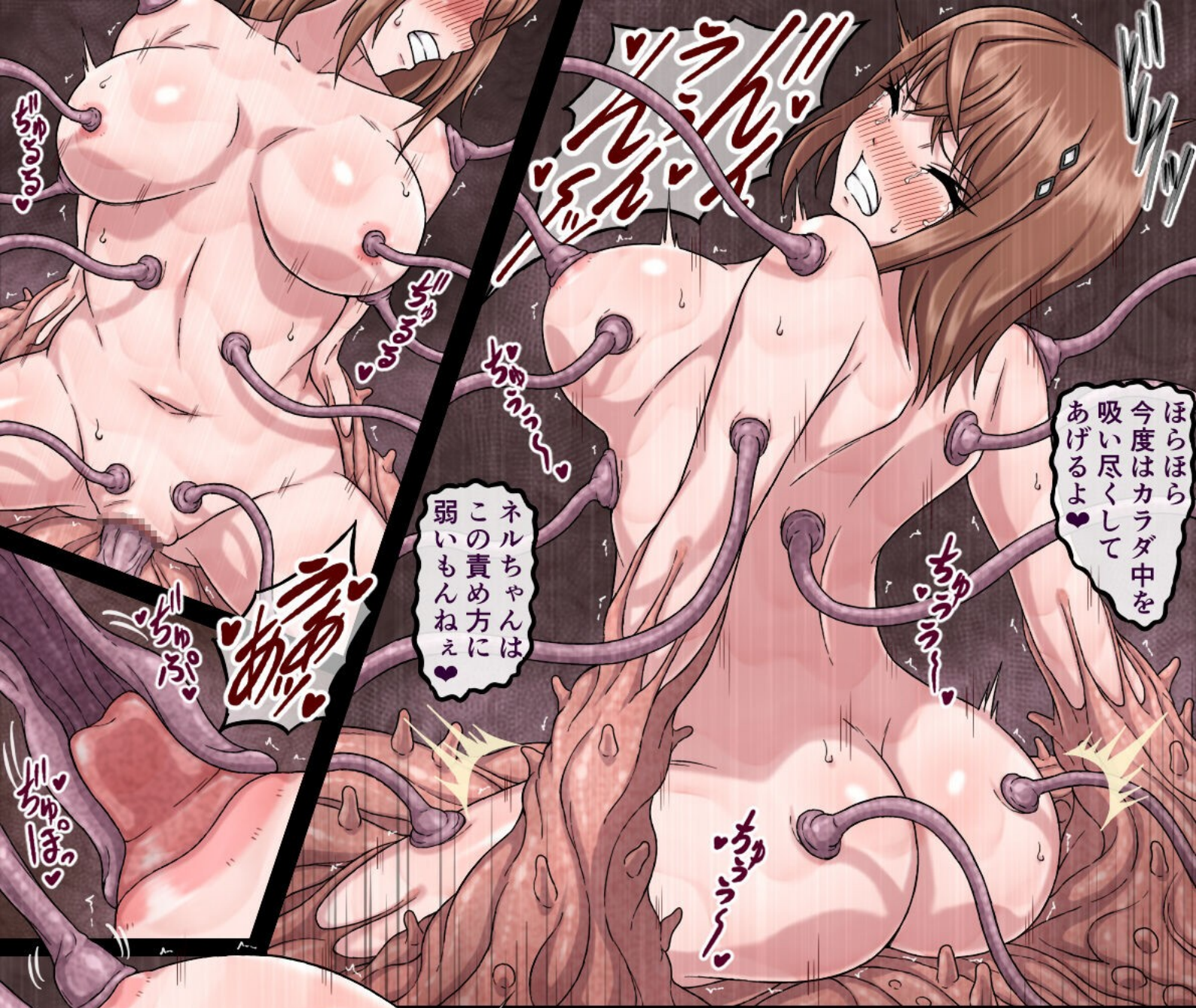


このカラダ...
本当に隅々まで
おいしいよ♡

優秀な女スパイさんは
まんまと捕まり
捌られ犯され快楽に堕ち...



永遠にオレ達の
餌になるのですた
っとな♡



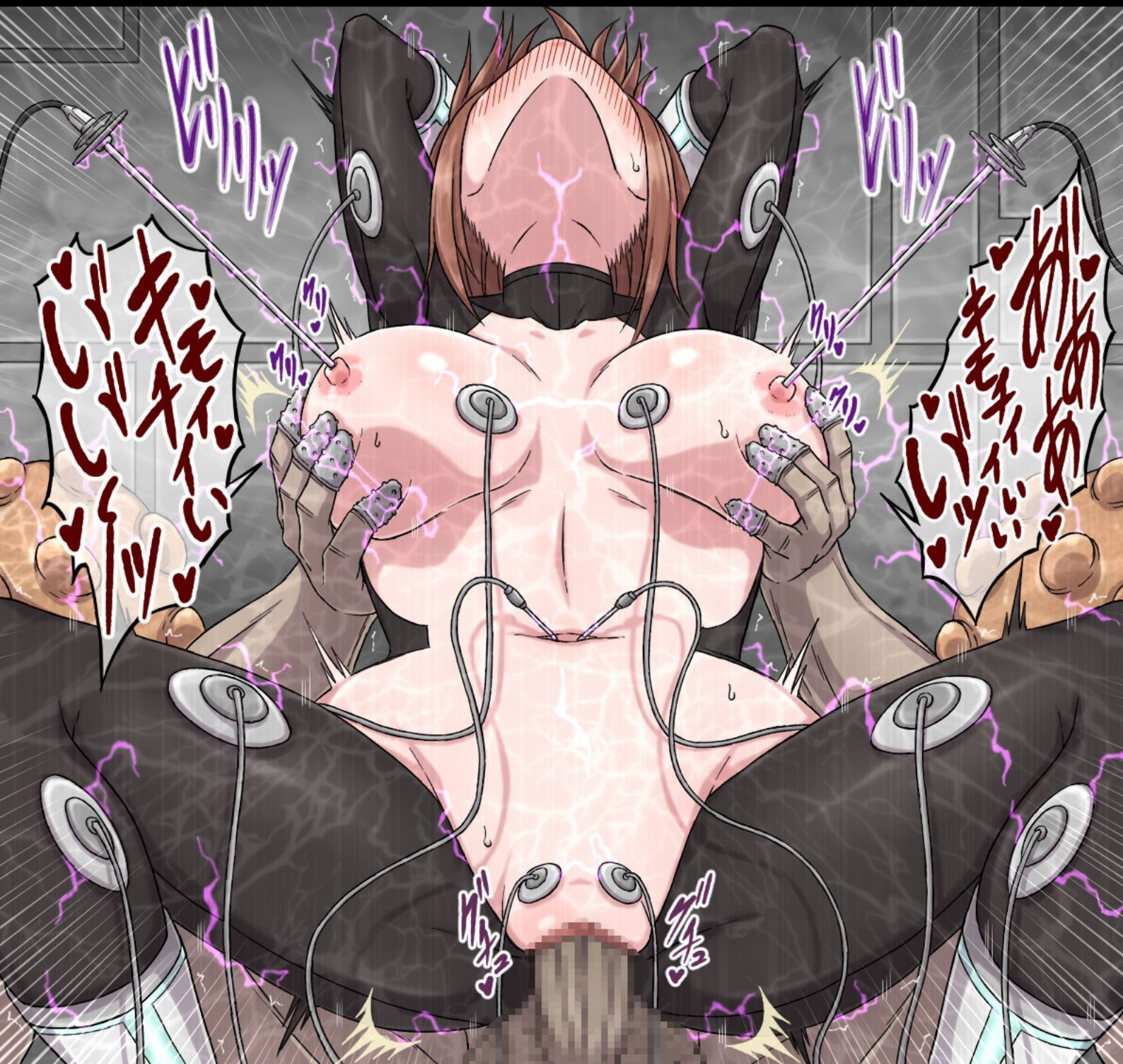
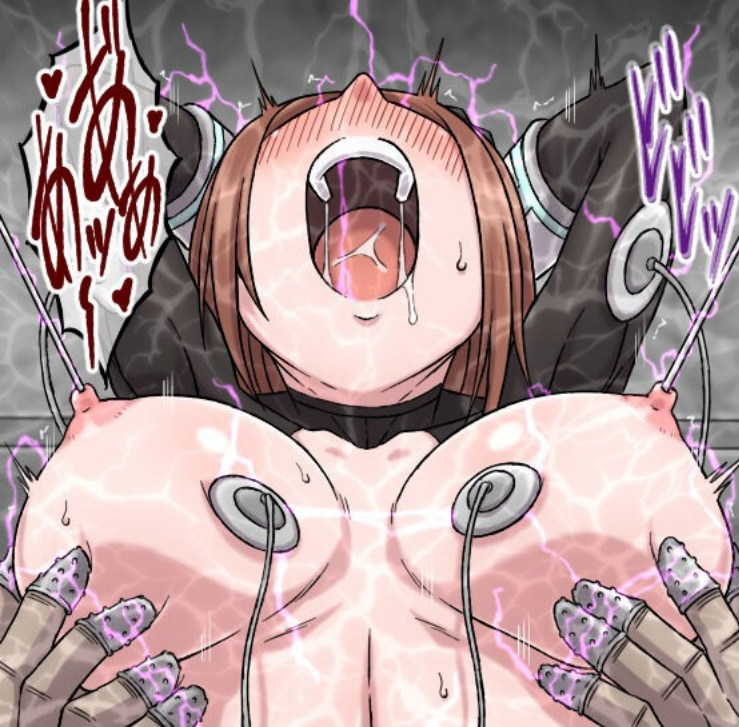
ほらほら
今度はカラダ中を
吸い尽くして
あげるよ♡

ネルちゃんは
この責め方に
弱いもんねえ♡



ほらっ
出すよ？
またいっぱい
ネルちゃんの
ナカに♡







ハハハ！
もうこんな
に
乱れちゃって

なるほどねえ
生物兵器に犯され
てるときもこんな
風になってたんだ

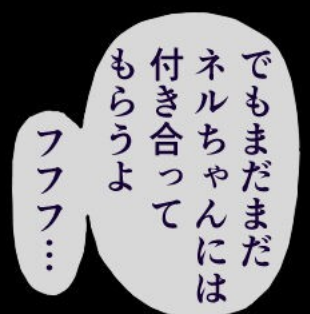
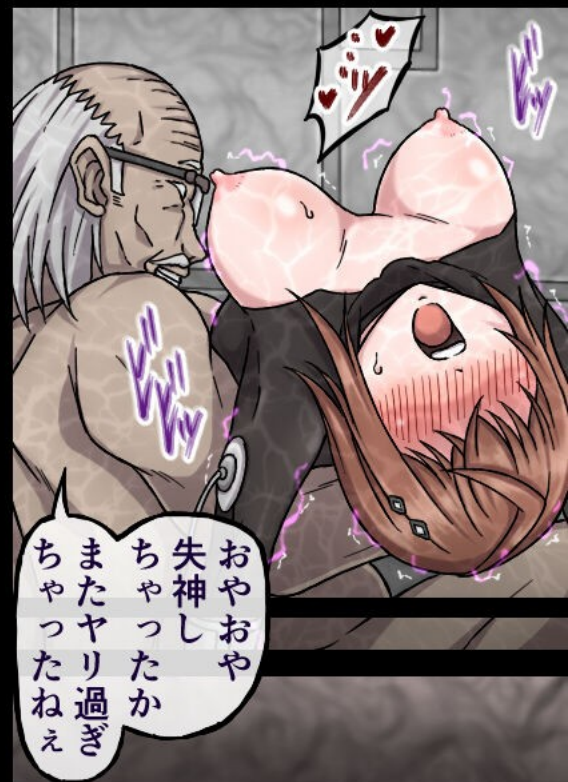
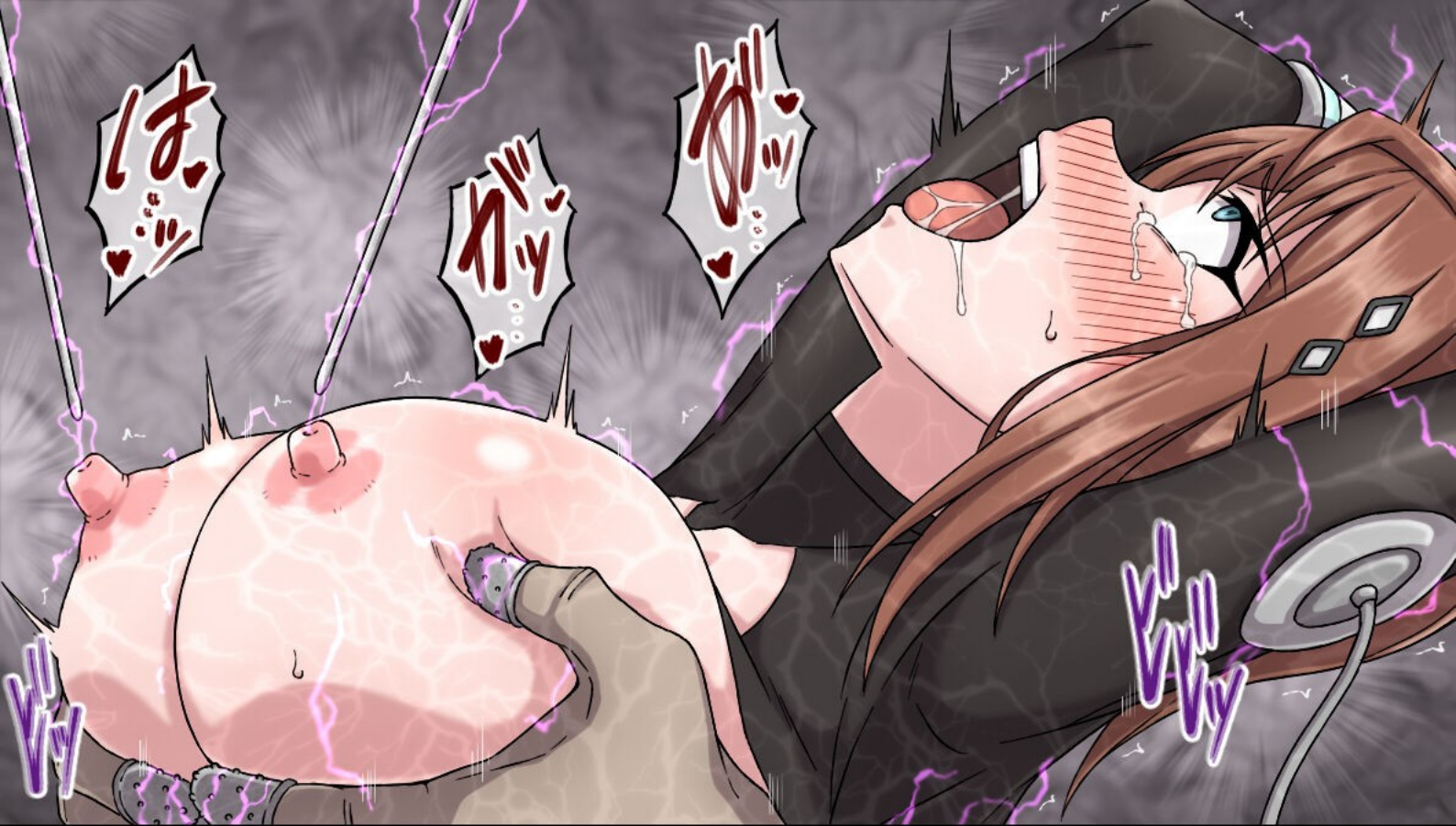


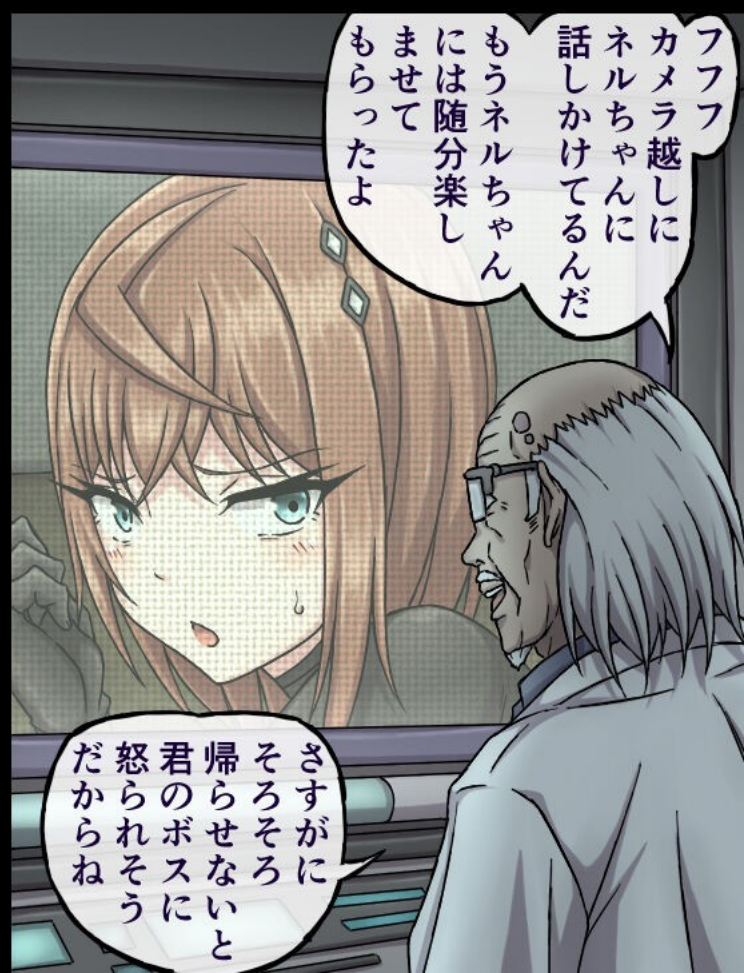
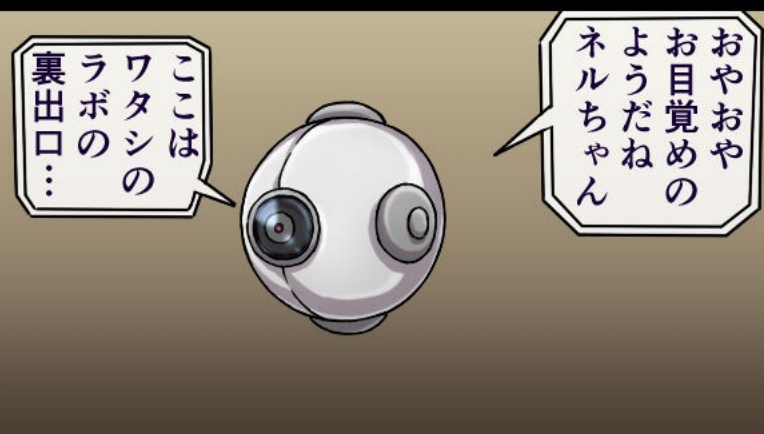
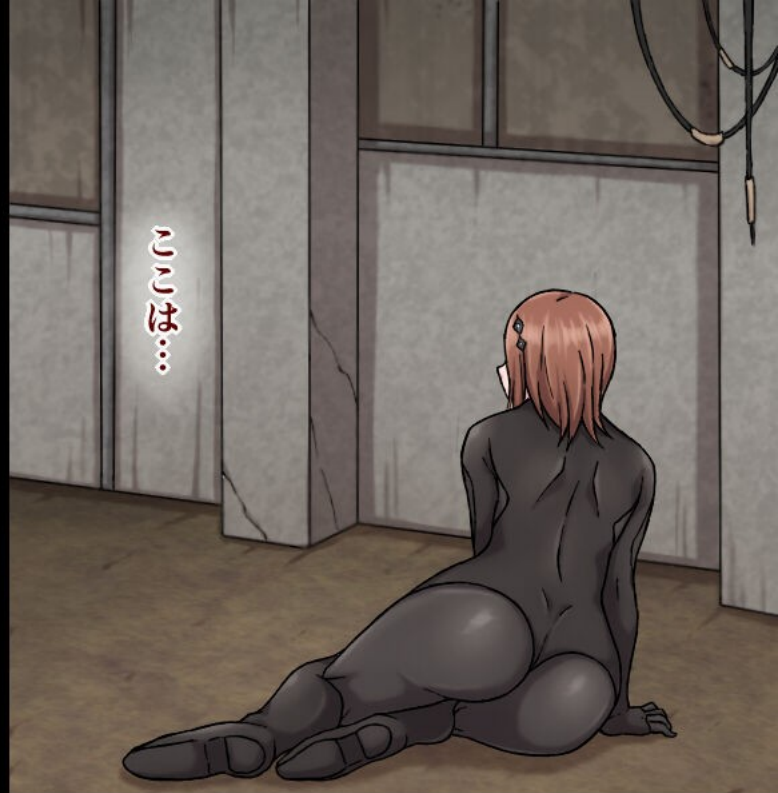
フフフ
強靱な精神力を
もった女スパイ
ネルちゃんも…

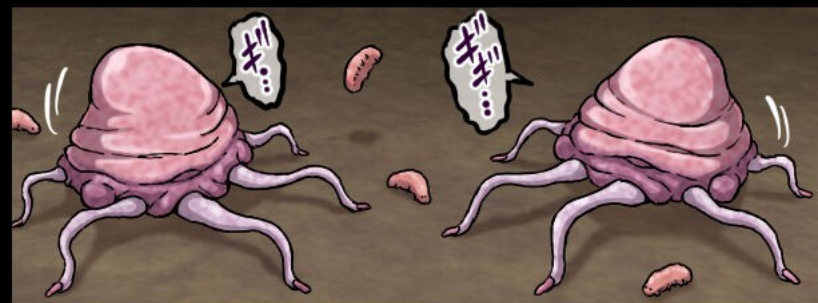
淫液の力とワタシの
科学力には敵わず
全てを曝け出して
しまおうか…
いい実験結果が
得られたよ♡

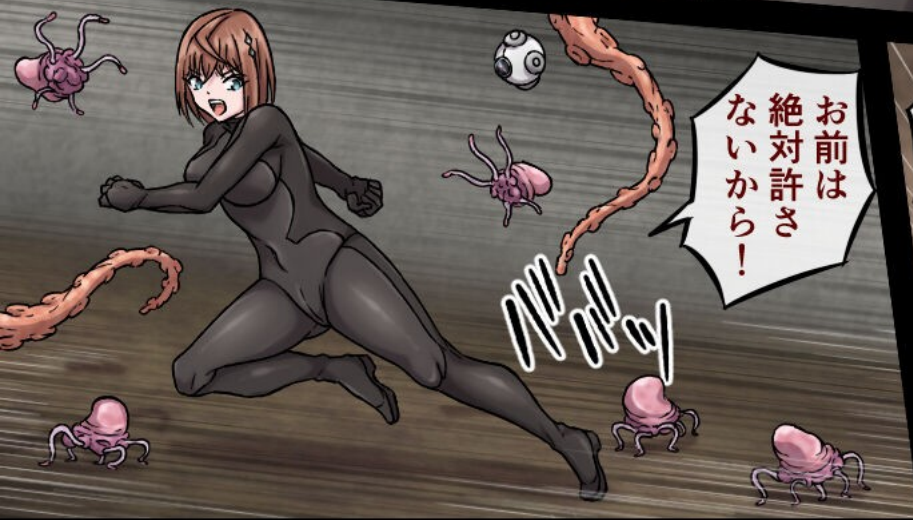
おれにワタシ
のもたっぷりと
受け取れい ♡

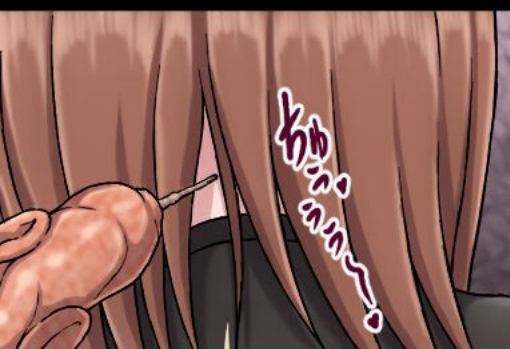


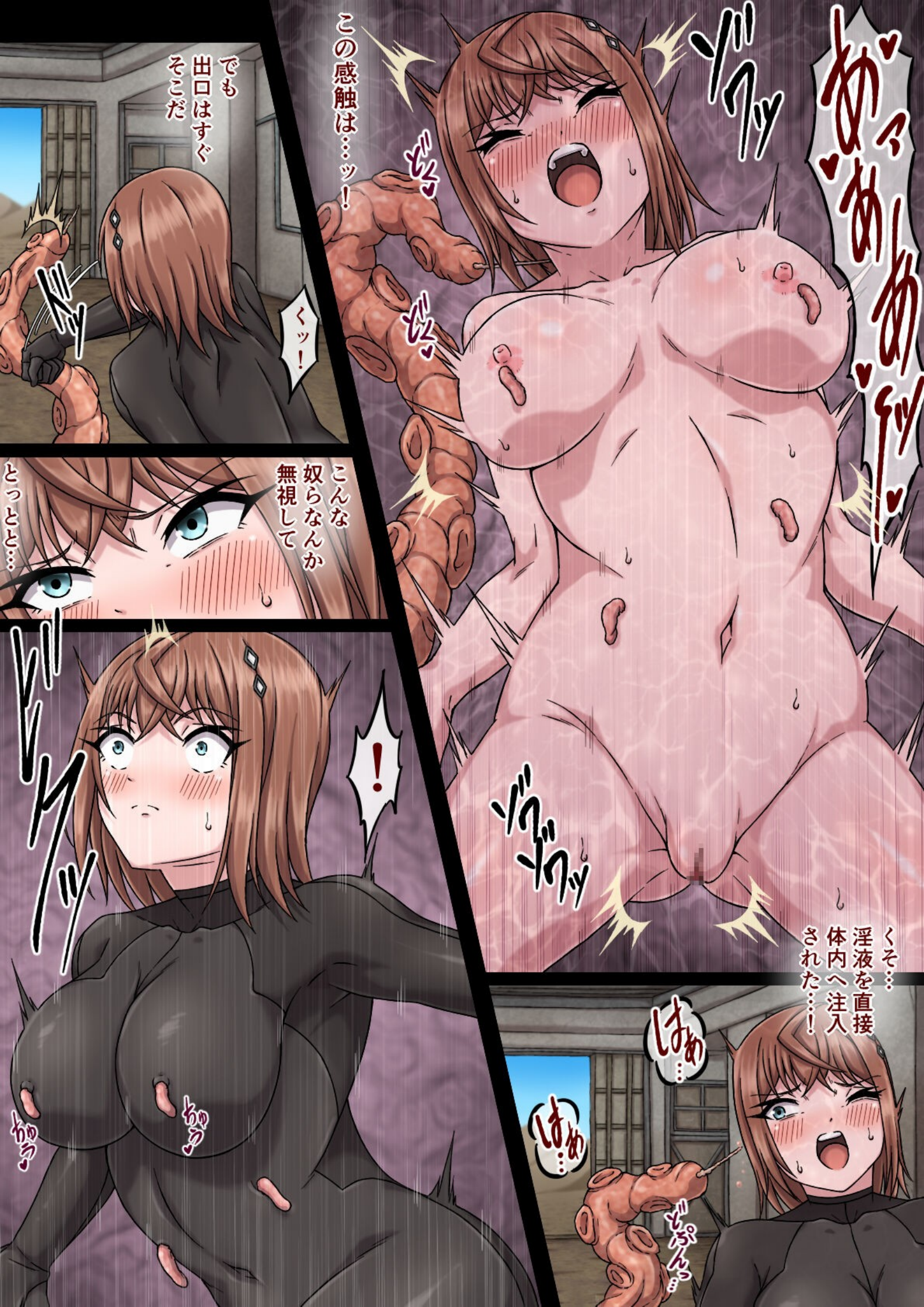












くそ…
淫液を直接
体内へ注入
された…!!

この感触は…ッ!

でも
出口はすぐ
そこだ

こんな
奴らなんか
無視して

とつとつ…

くッ!

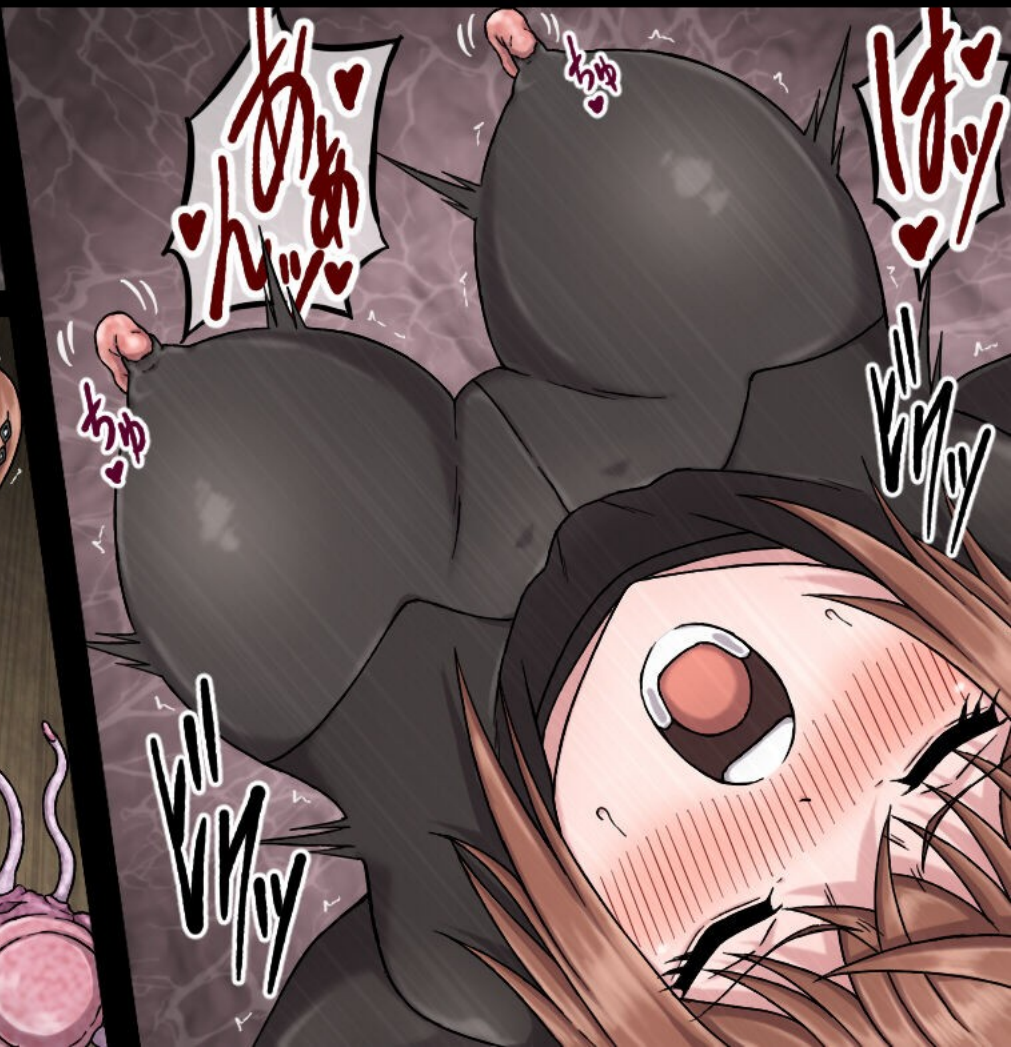
はぁ…

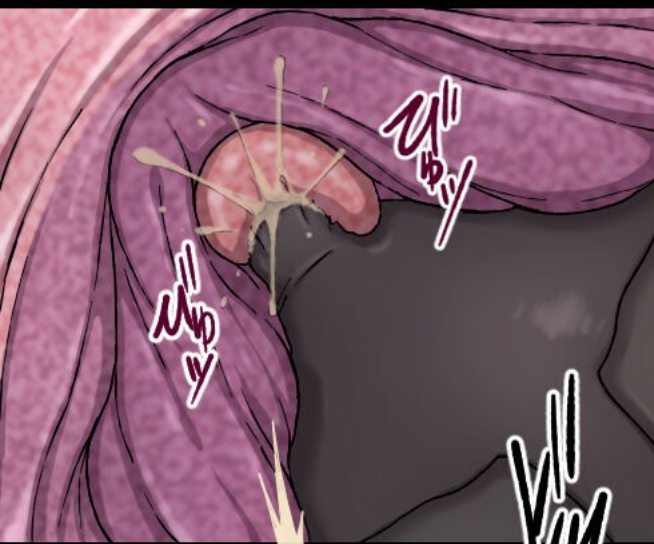
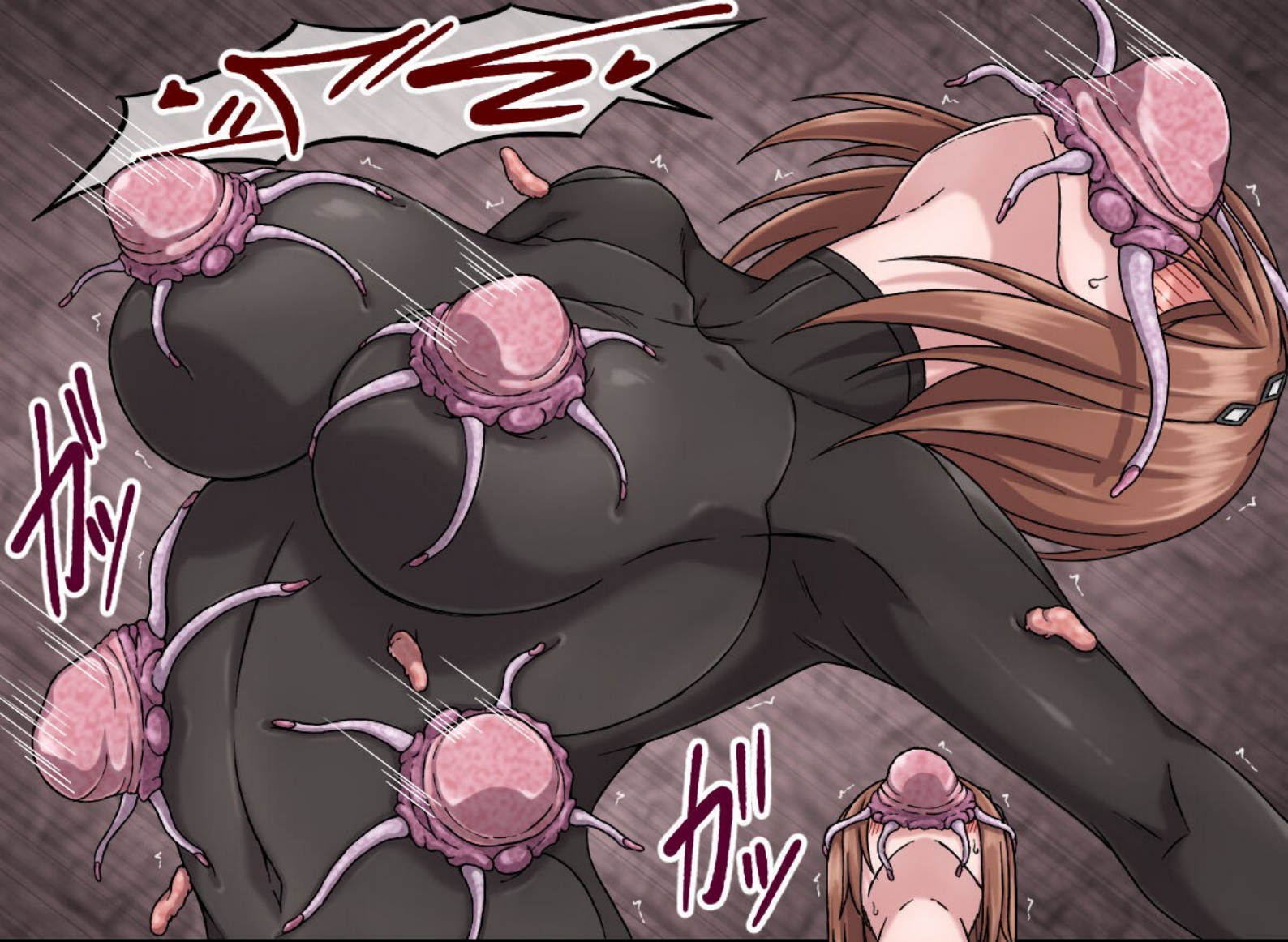
はぁ…

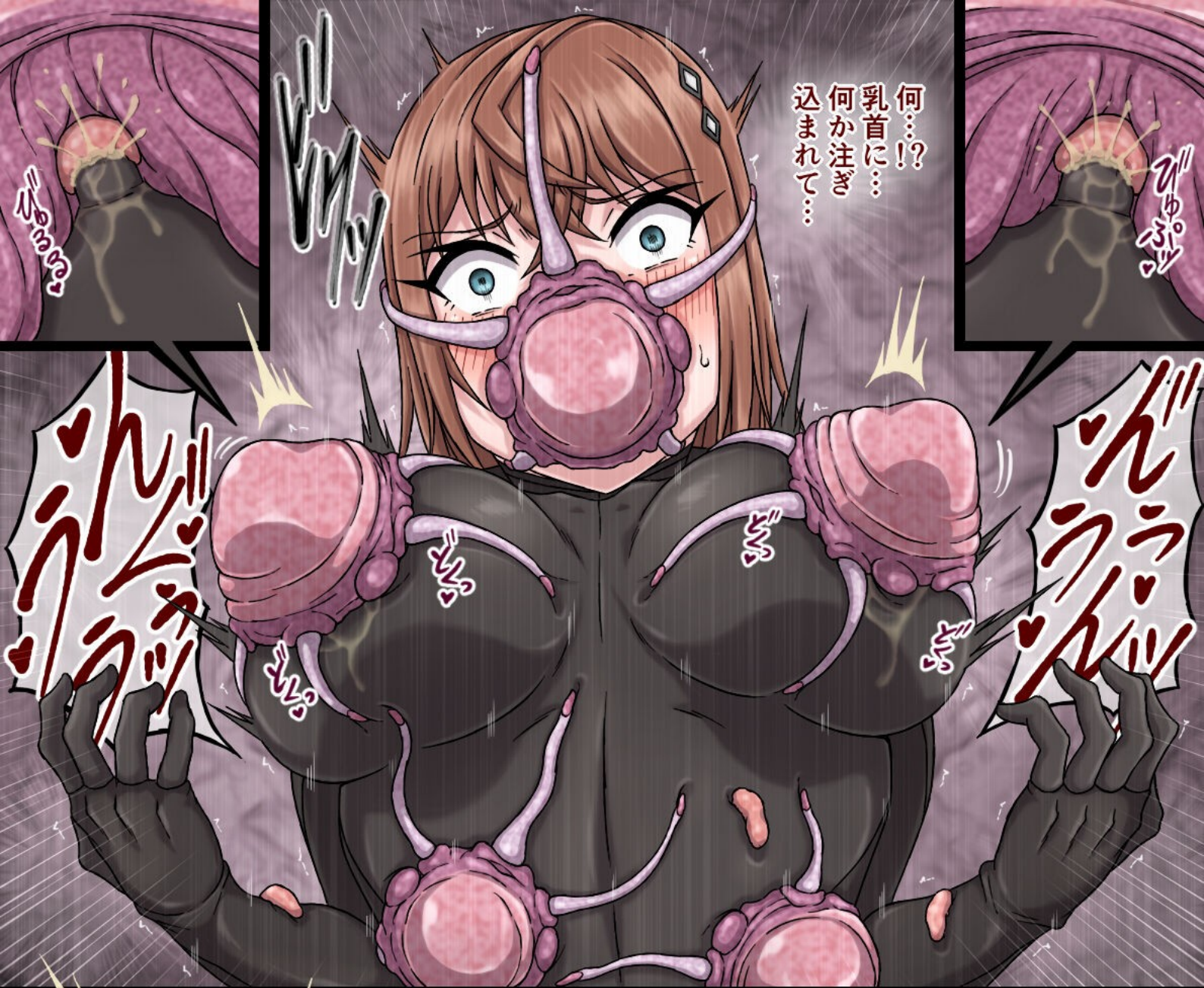
ぐわん…

ぐわん

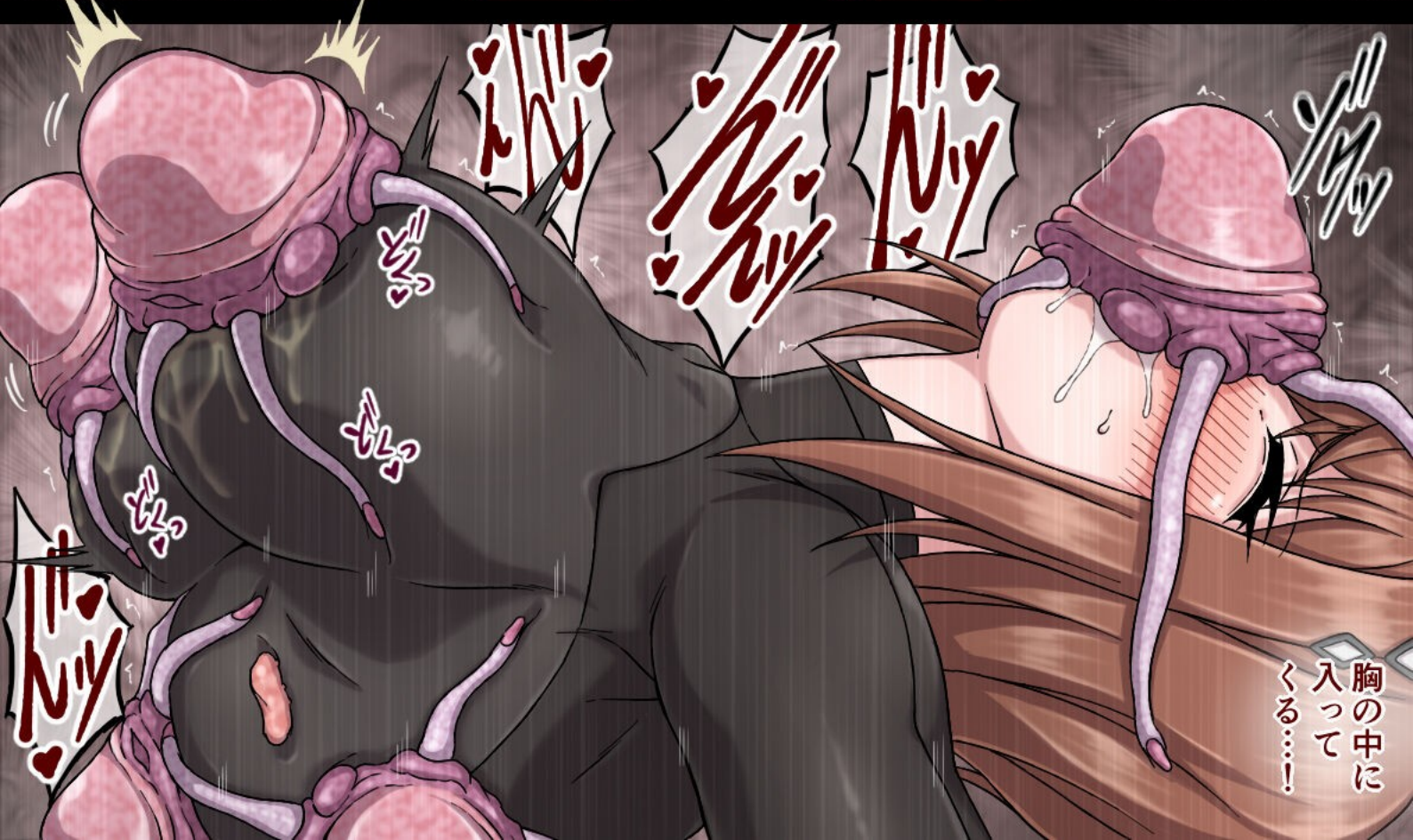
ぐわん



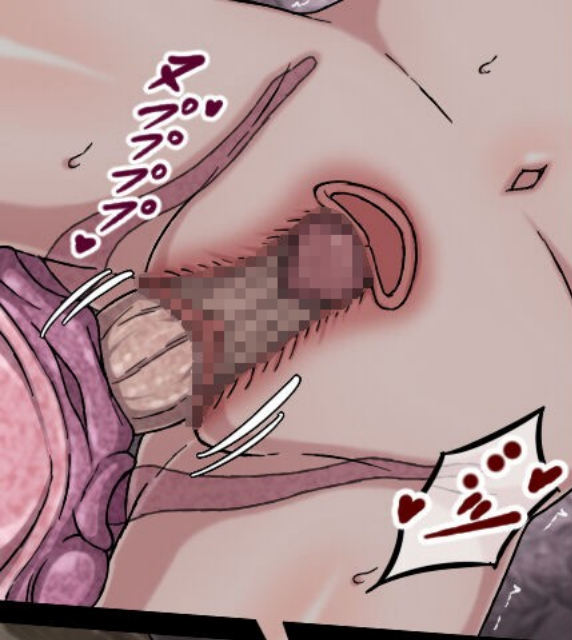




何…!?
乳首に…
何か注ぎ
込まれて…

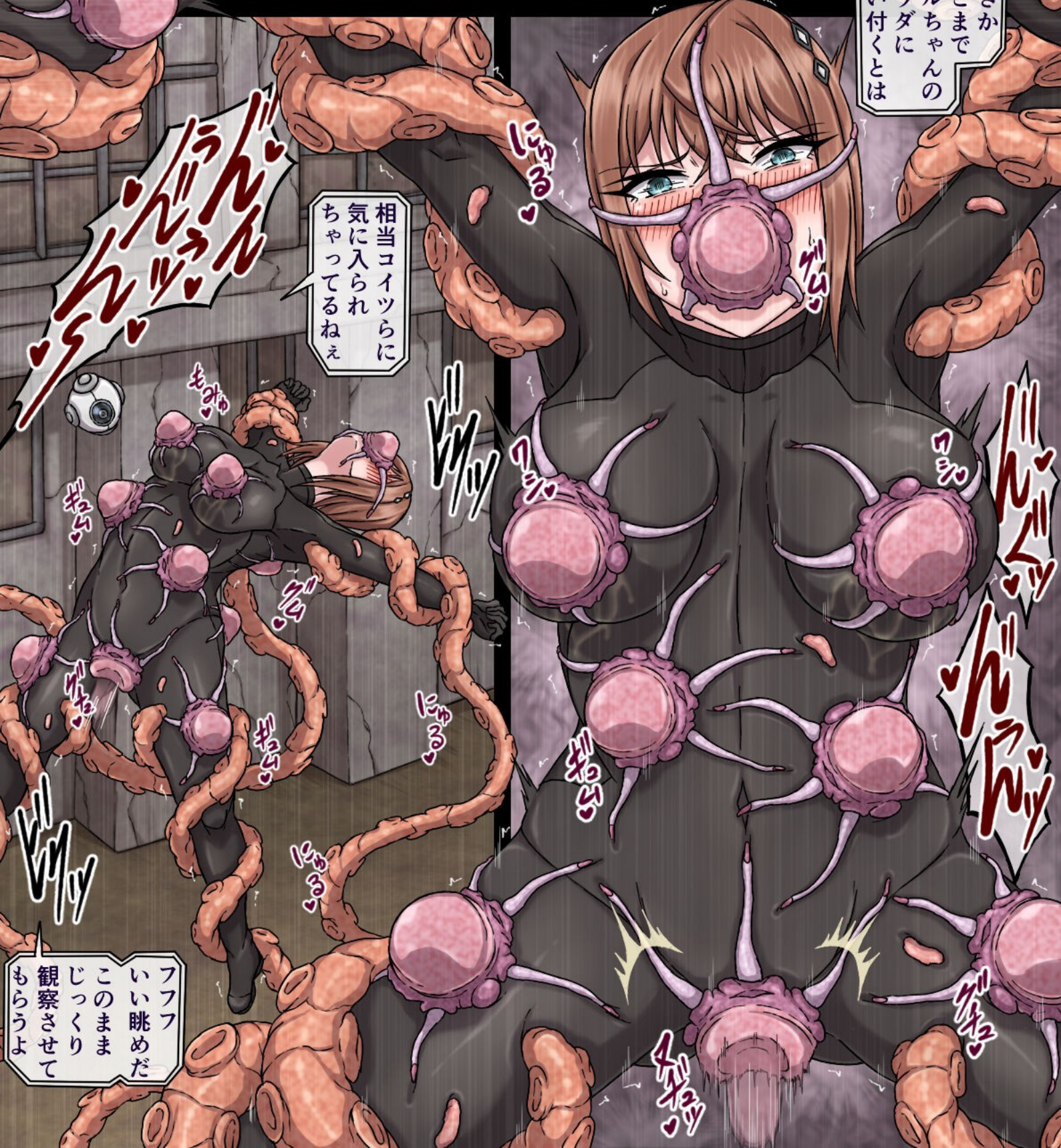


胸の中に
入って
くる…!



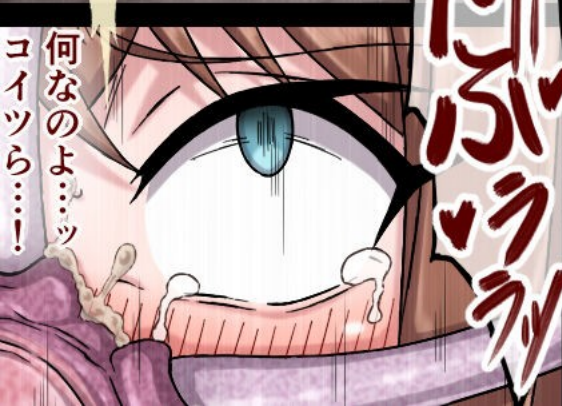
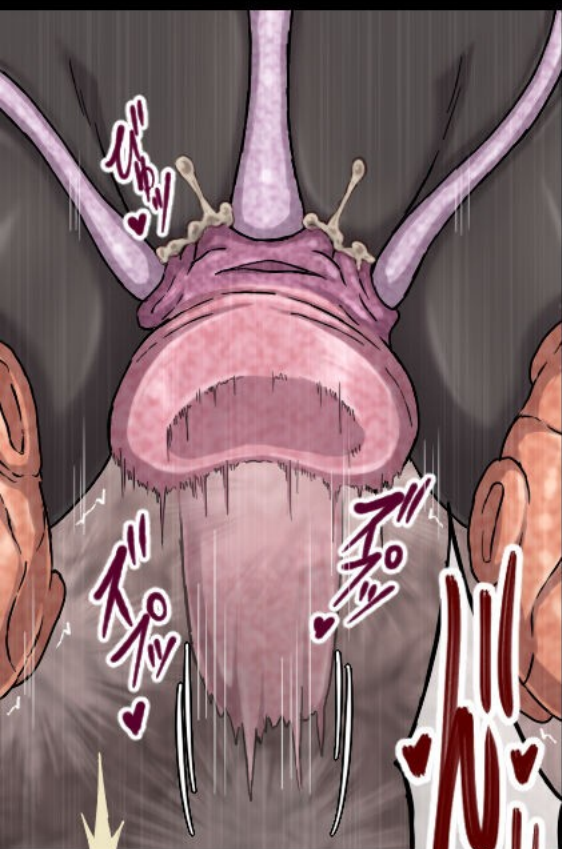
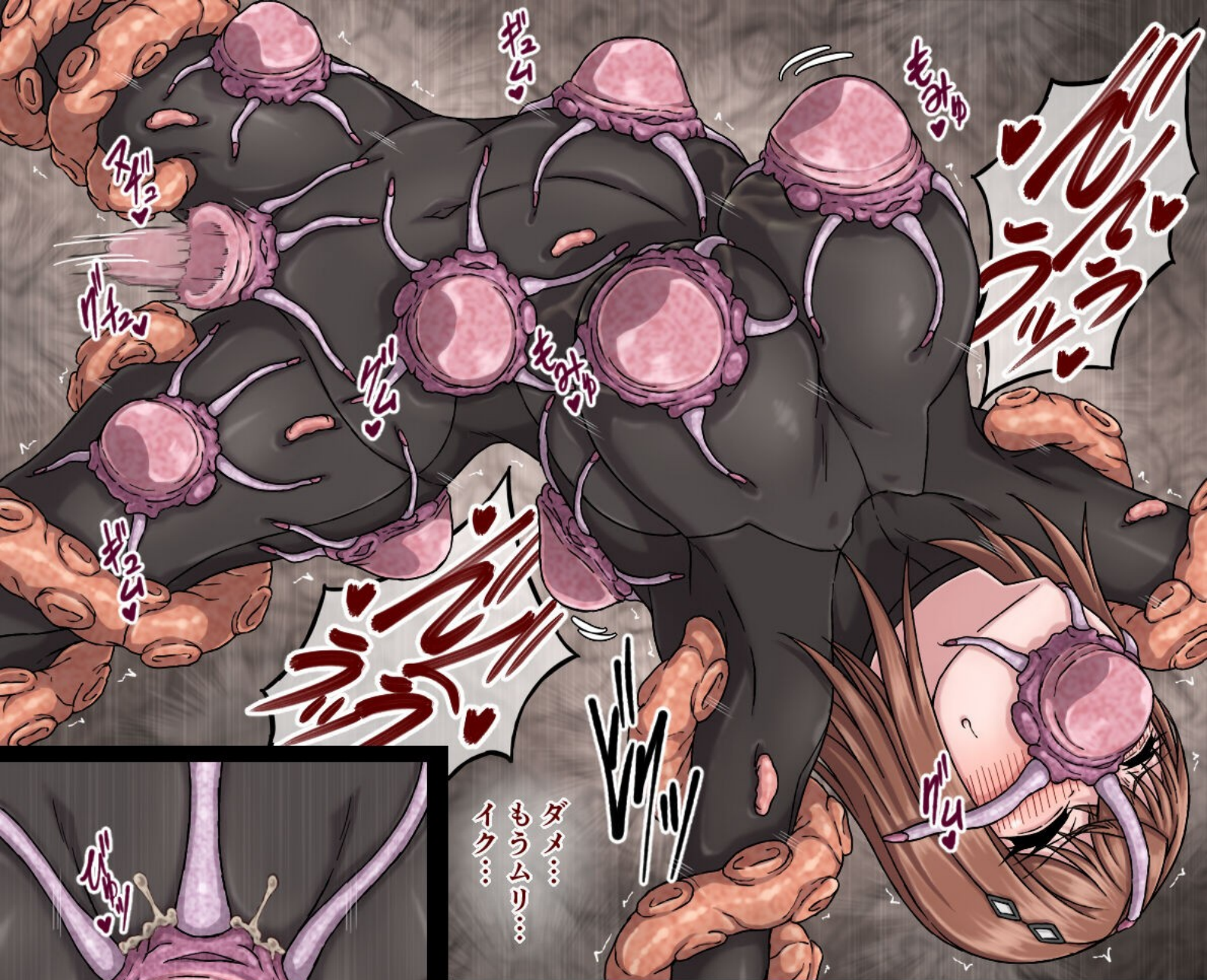


まさか
ここまで
ネルちゃん
の
カラダに
喰い付くとは



相当コイツらに
気に入られ
ちゃって
るねえ

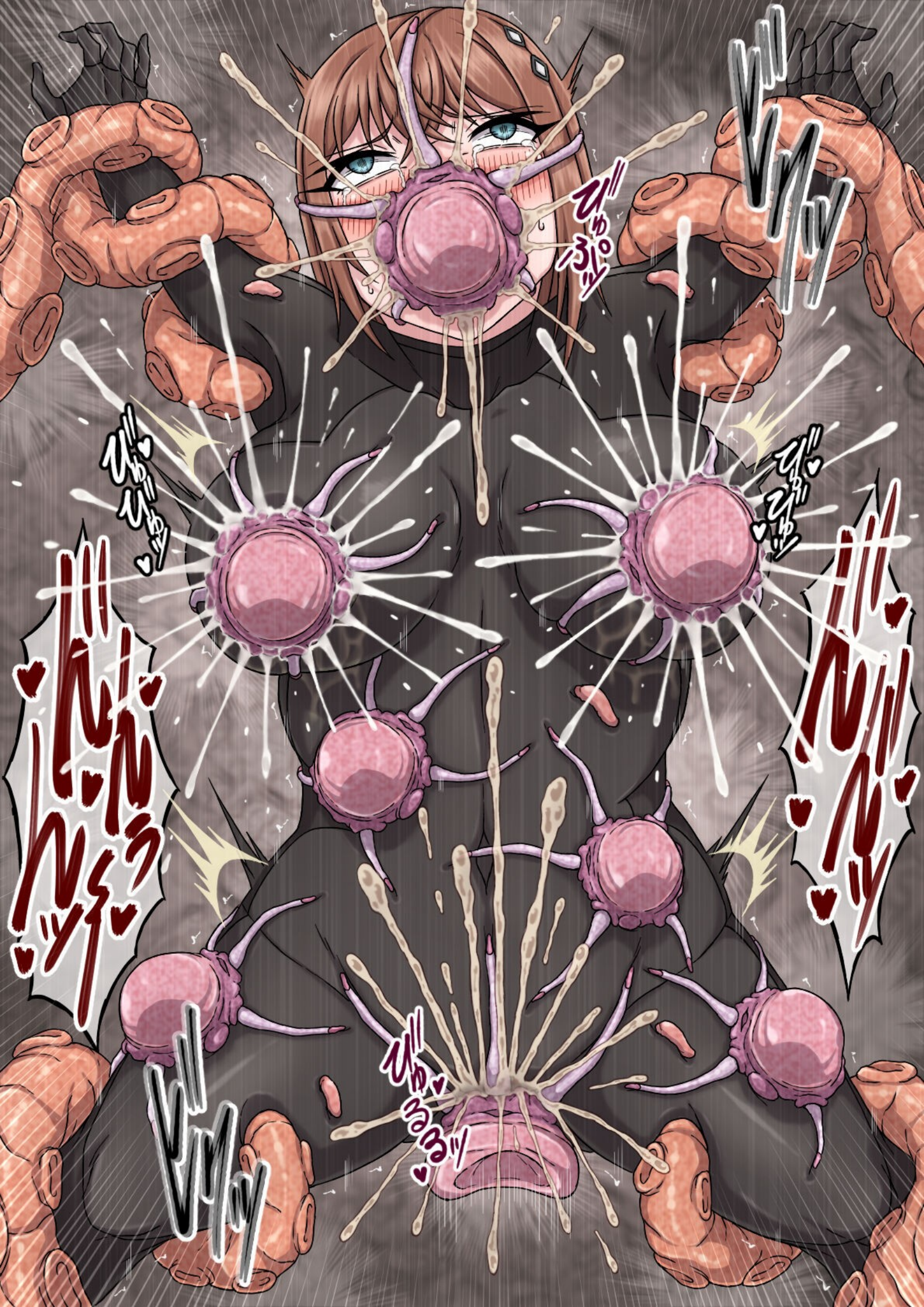
フフフ
いい眺めだ
このまま
じっくり
観察させて
もらおうよ



ダメ…
もうムリ…
イク…

ああア…!
胸もヘンな
感じになってッ…

何なのよ…ッ
コイツら…!





ぶるぶる...

ハア...

ハア...

どうだい
ネルちゃん？
そんなカラダに
改造されちゃ
困るだろう？
また治してあげる
からワタシに
カラダをじっくり
調べさせてもらえ
ないかね？

ふざけるな...！
誰が...アンタ
なんかにッ...！



やめろ...！



ネルちゃんを
搾乳するんじや
ないかな？



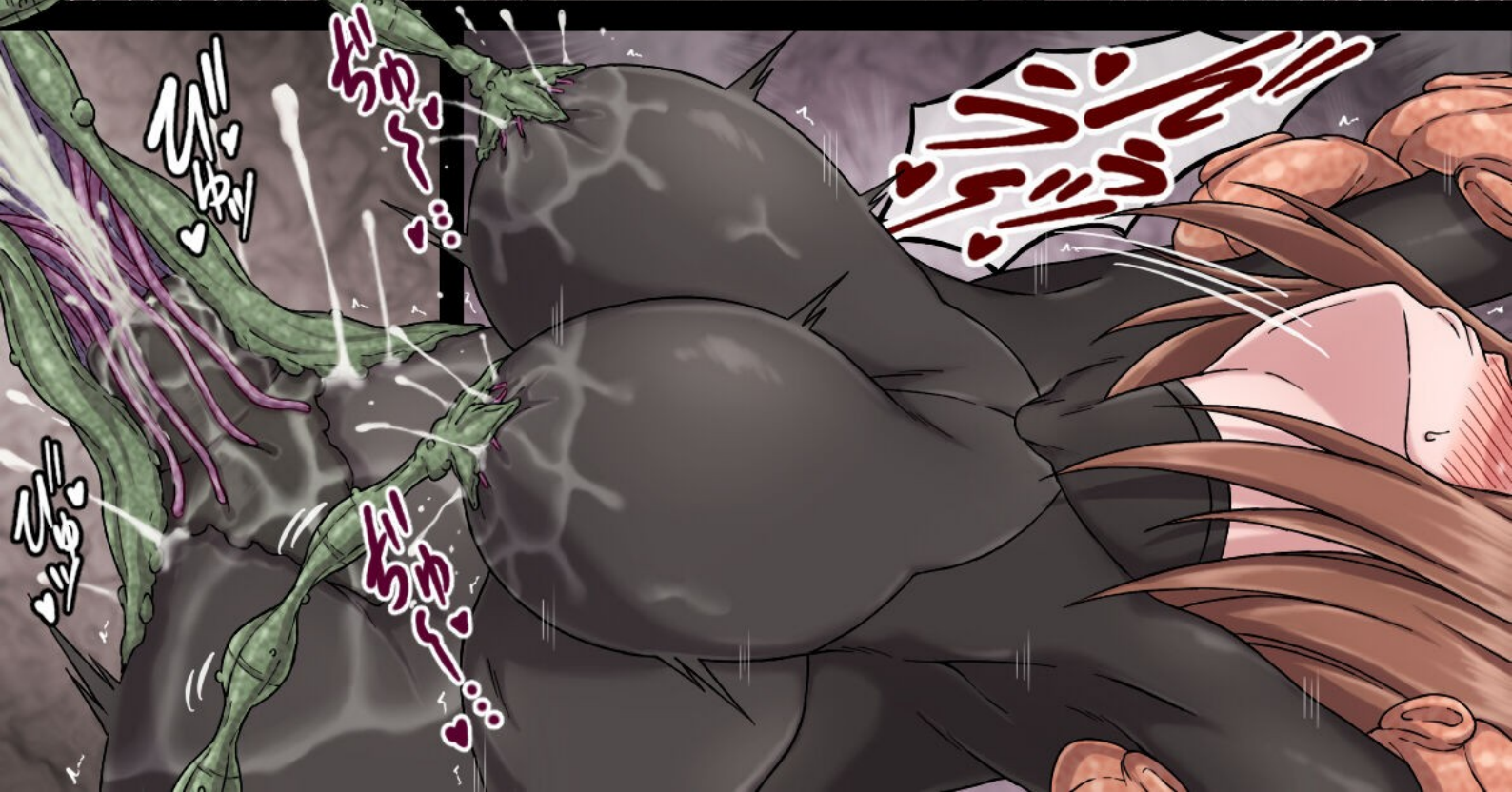
ムッパ...

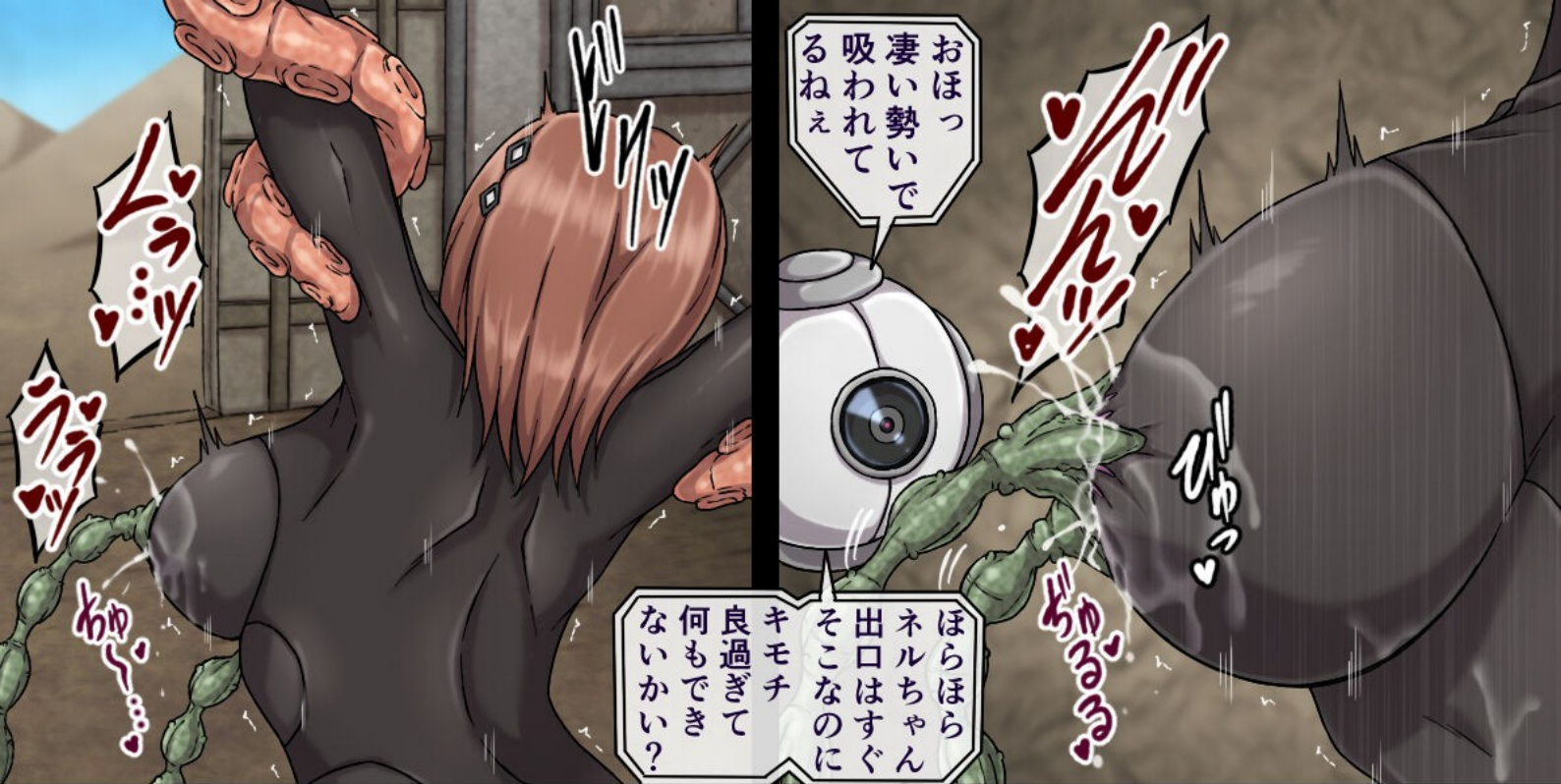
このままじゃ
そいつらは
容赦なく...



フフ
いいのかい？

！





おほっ
凄い勢いで
吸われて
るねえ

んんん
んんん
んんん

ほらほら
ネルちゃん
出口はすぐ
そこなのに
キモチ
良過ぎて
何もでき
ないかい？

びゅっ
びゅっ
びゅっ



こんなの…
何ともないッ…
から…ッ
アンタは…
私がここを去った
後の自分の身を
案じてなさい…！

おっ
おっ
おっ

あッ
あッ
あッ

フフフ
相変わらず
強がるね

びゅっ
びゅっ
びゅっ





あッ♡♡♡

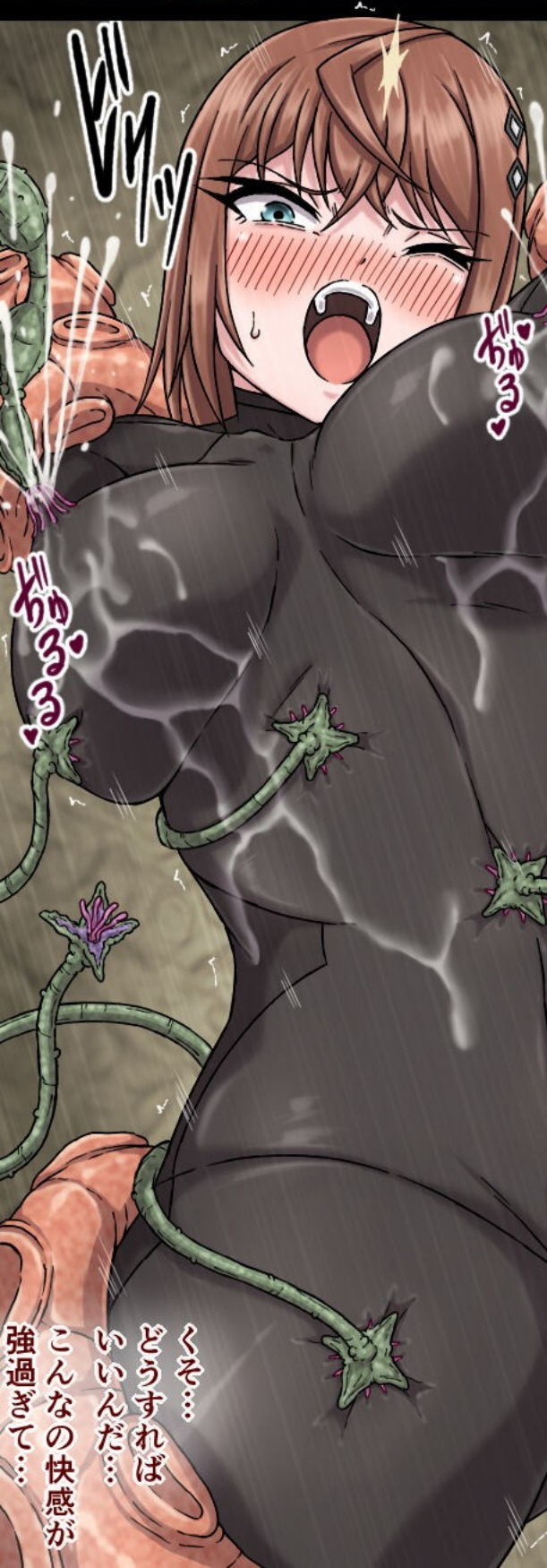
しゅわっ♡♡♡



ほらあ
ダメじゃないの
もっと快楽を
我慢することに
集中しなきゃ

あッ♡♡♡

あッ♡♡♡



あッ♡♡♡

あッ♡♡♡

くうう！
さつきより
吸う力が
強く…ッ！

あッ♡♡♡

あッ♡♡♡

あッ♡♡♡

くそ…
どうすれば
いいんだ…
こんなの快感が
強過ぎて…

強制的に
イカされ続ける……!!

まゝ挿れられて
かわいい声が
出ちやつてゐるねえ



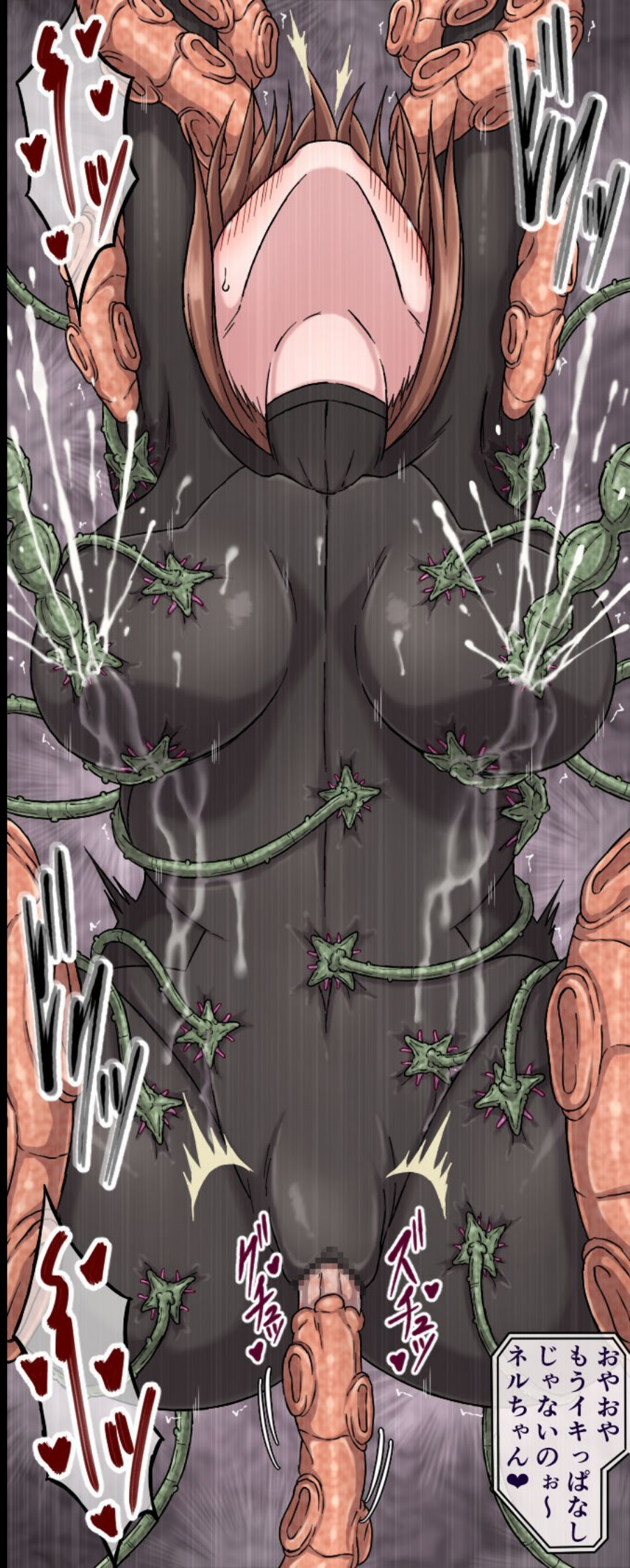


ああ...!!
ダメエ...

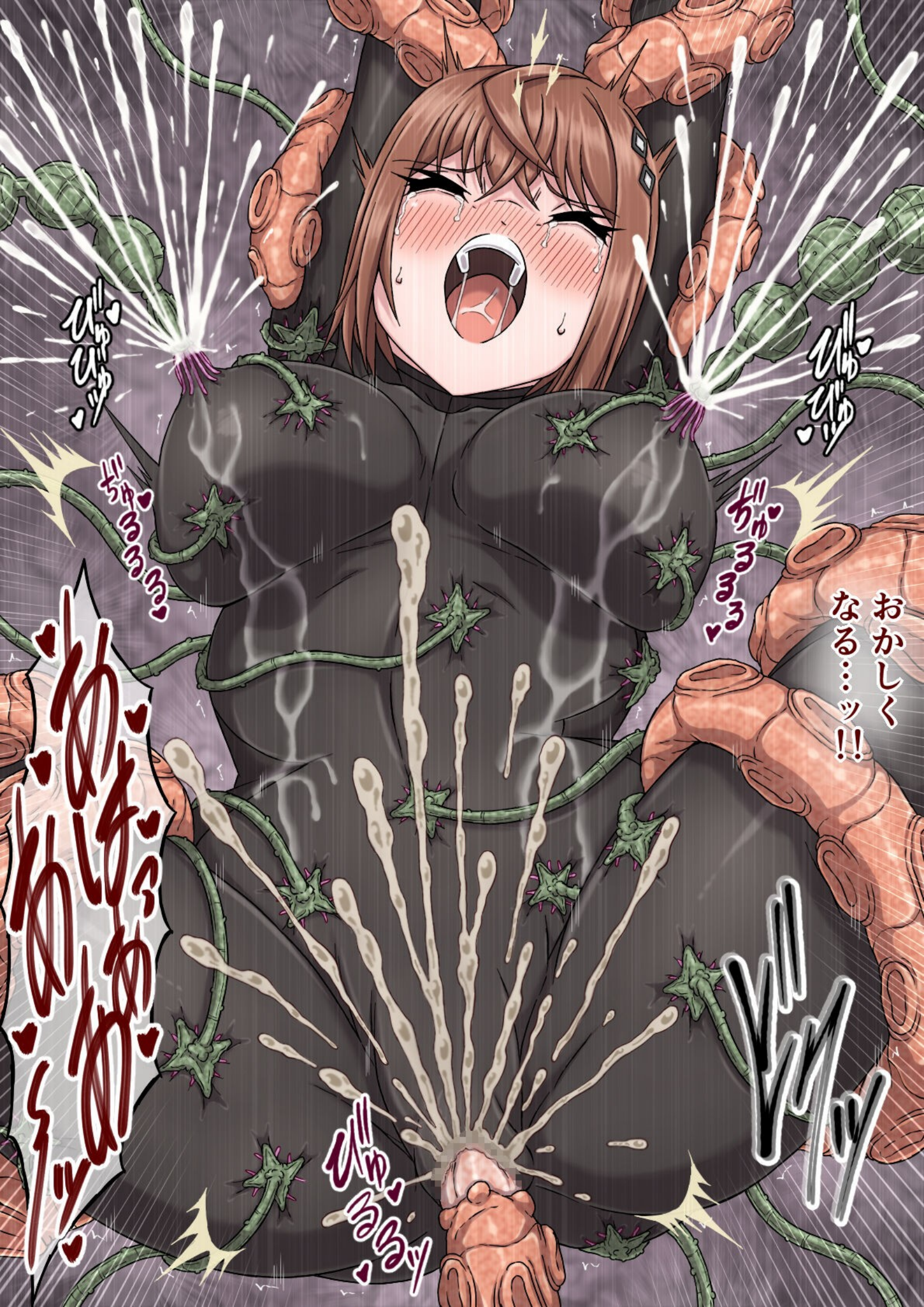


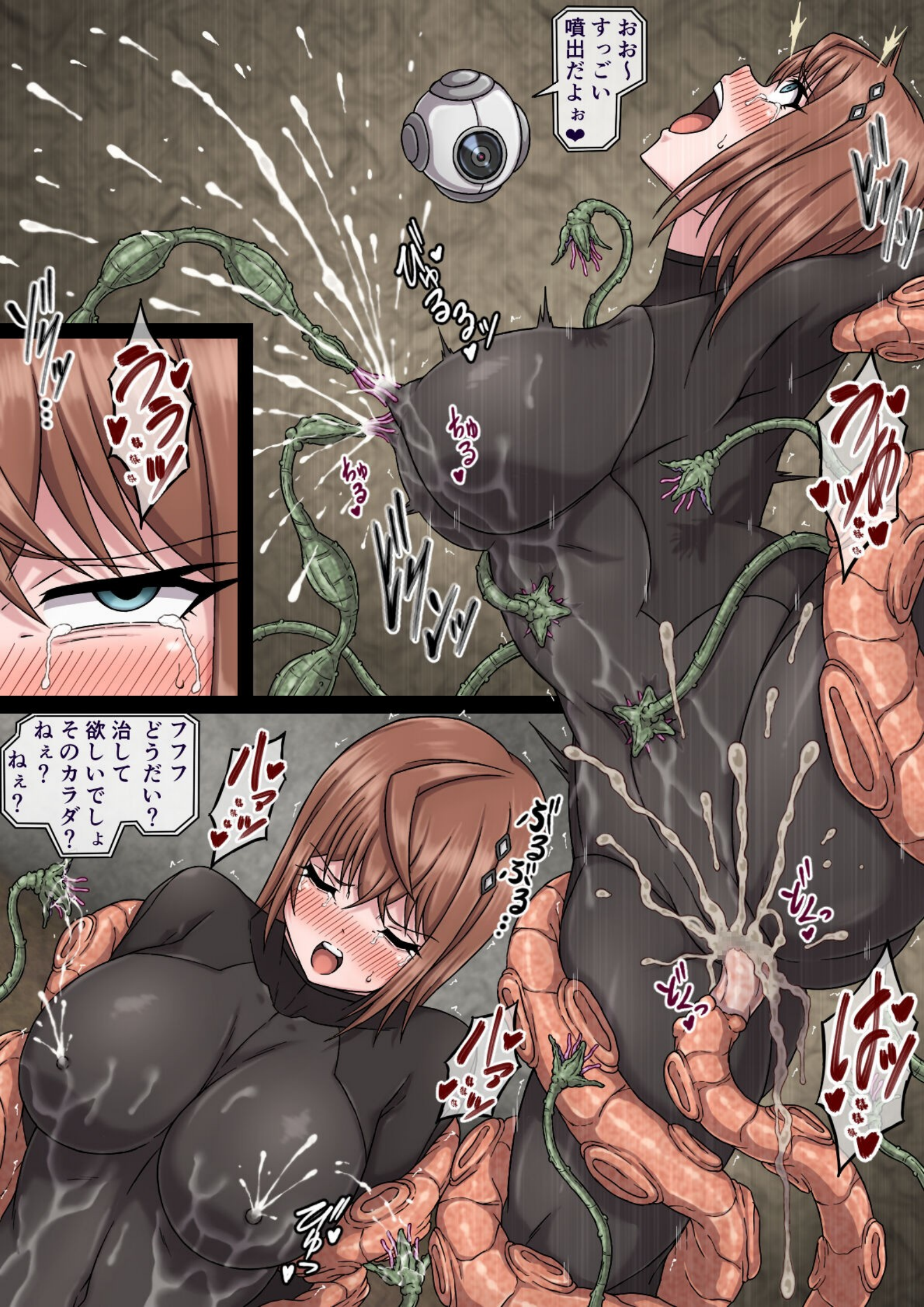
おっぱい
吸うの
ダメエ!!

うわ...
ちゅるるるッ



おやおや
もうイキっぱなし
じゃないのぉ
ネルちゃん♡





おお
すっごい
噴出だよお

つ
つ
つ

は
は
は

は
は
は

つ
つ
つ

フフフ
どうだい？
治して
欲しいでし
よそのカラ
ダ？
ねえ？
ねえ？

は
は
は

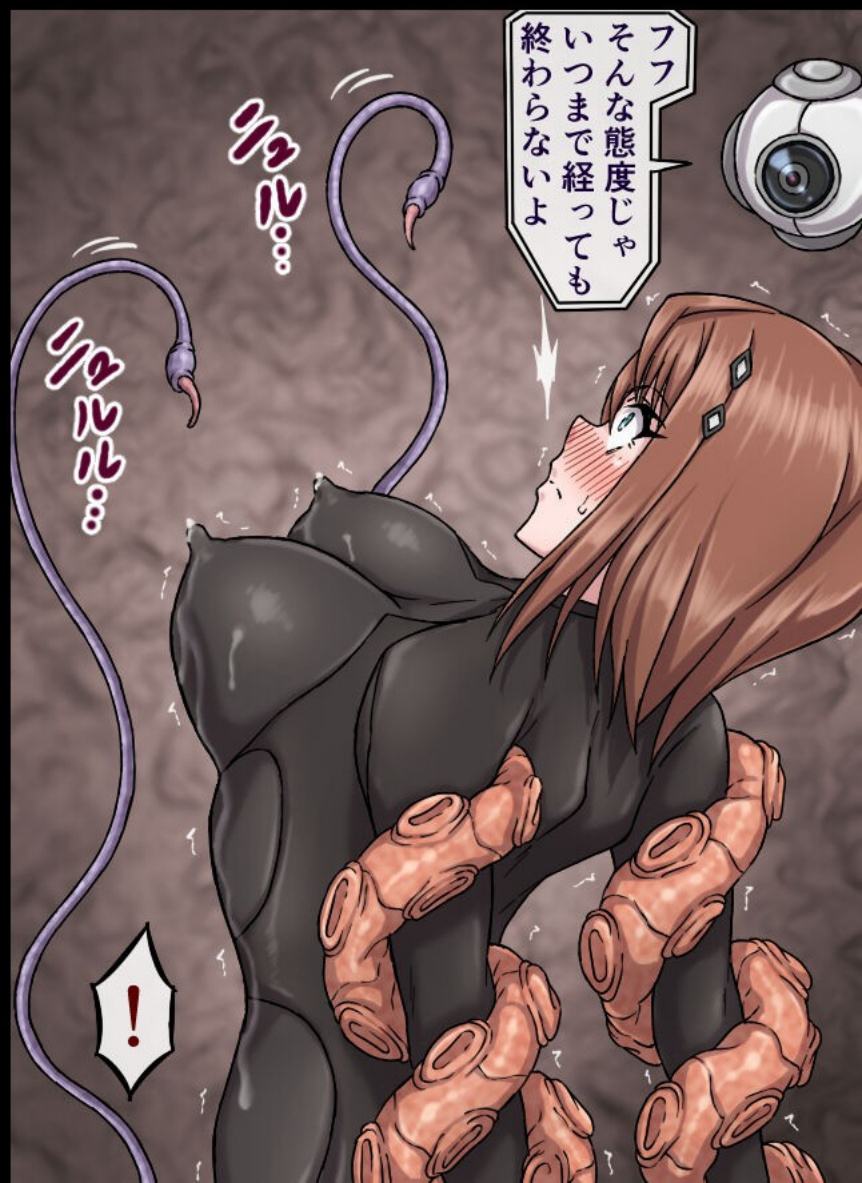
は
は
は

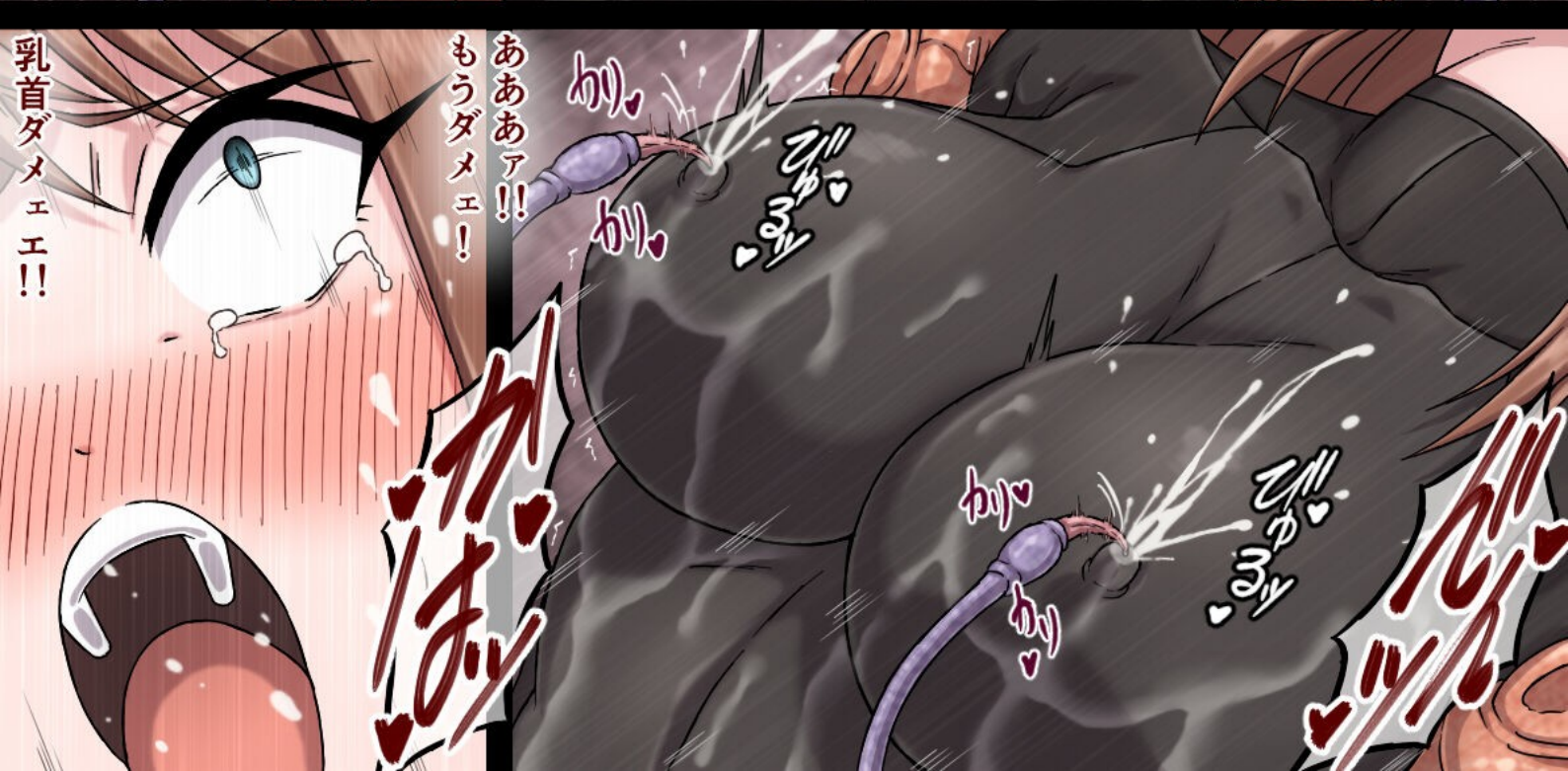
は
は
は

は
は
は

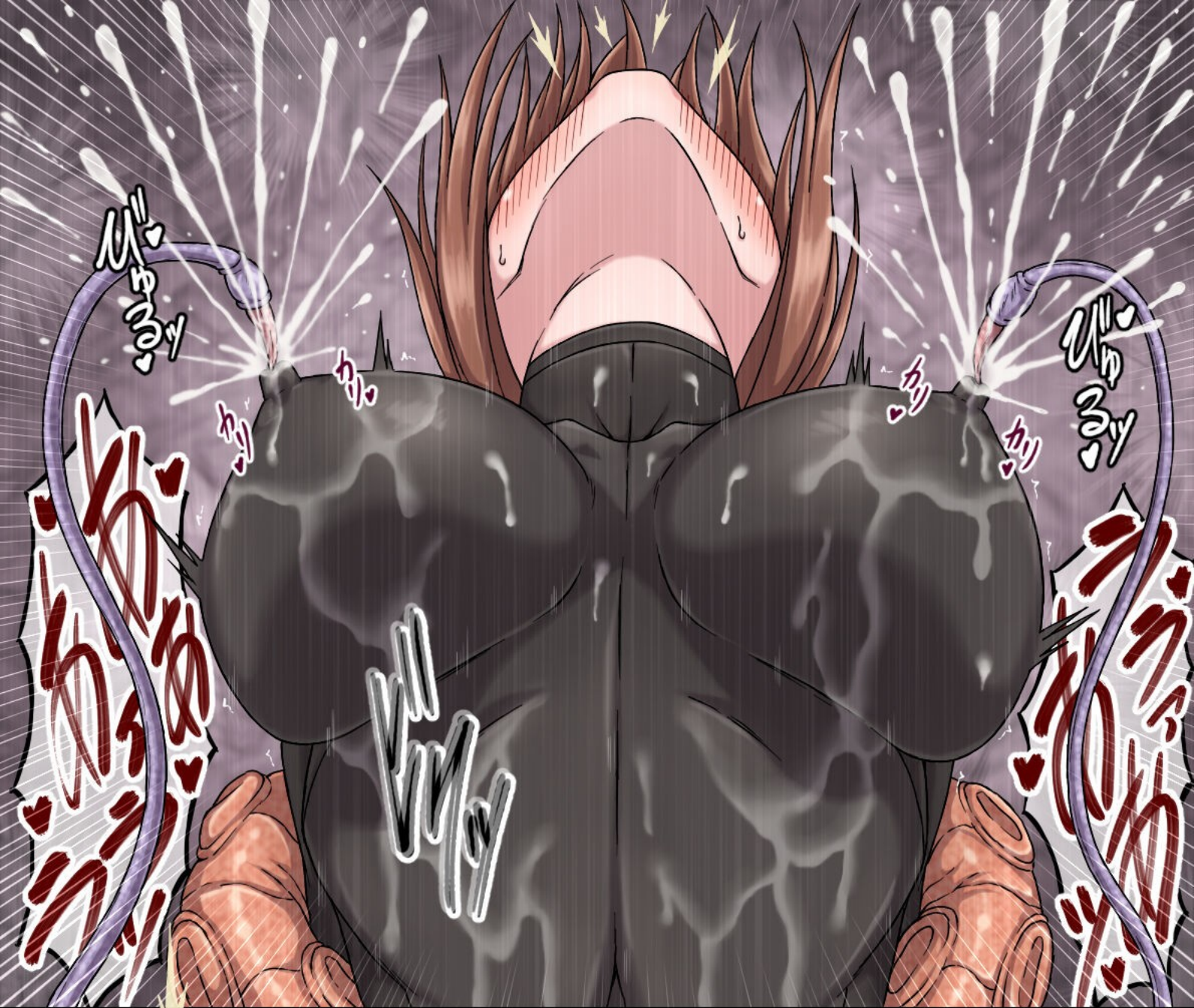
は
は
は

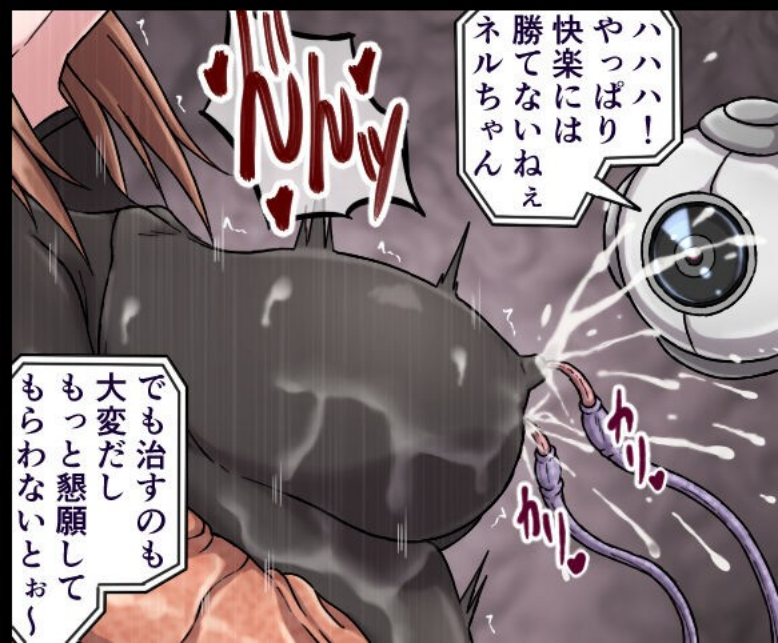
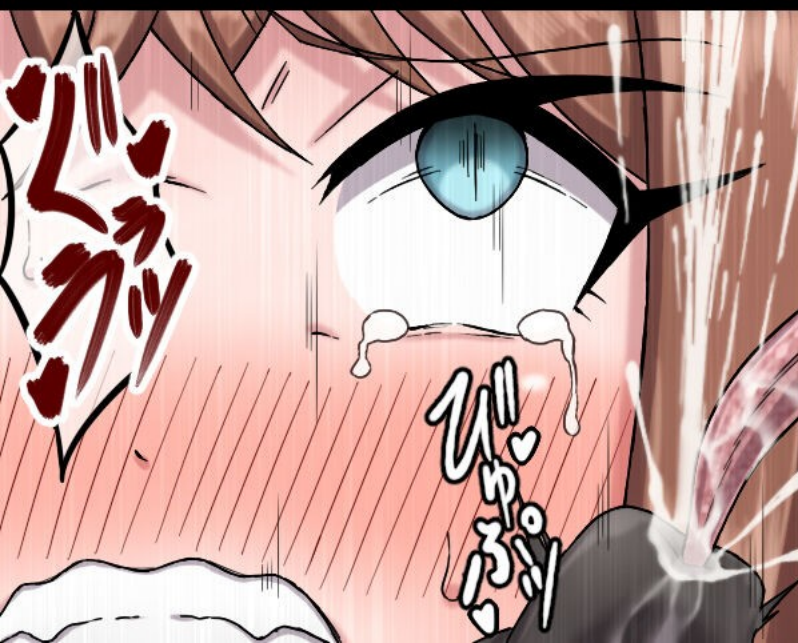
は
は
は





乳首ダメエ!!









そんなに
治して欲しい
なら治すよお

またワタシの
仕事を増やし
ちゃって...
しょうがない
子だなあ
ネルちゃんは♡

あらあら
こんな無様な
姿曝け出し
ちゃって...

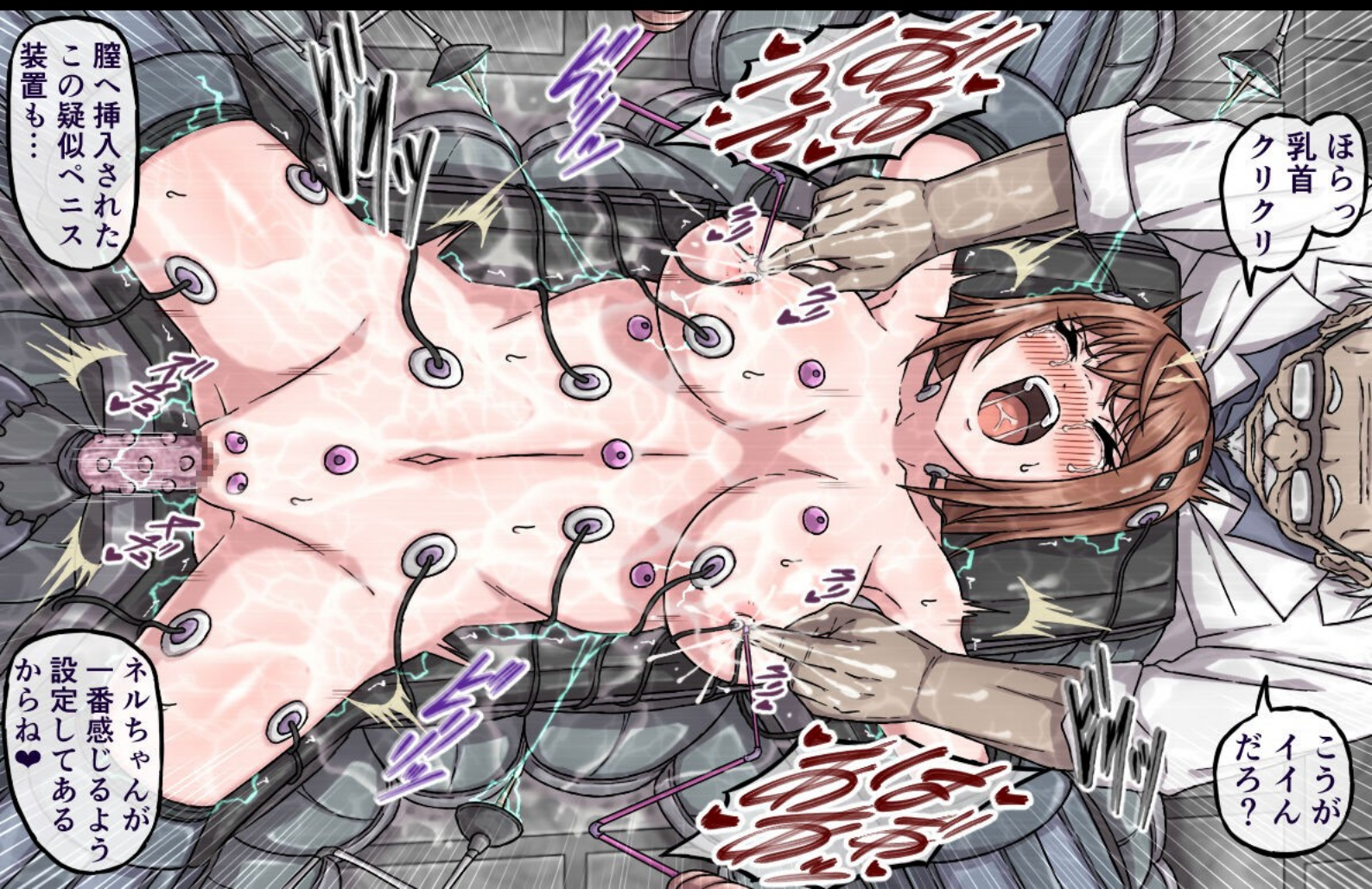
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

ひゅっ
ひゅっ
ひゅっ

ひゅっ
ひゅっ
ひゅっ

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡



ネルちゃんが一番感じる電氣出力量に...

電圧...
電流量...

乳首には電流と機械と指での同時刺激...

膣への一番キモチイイ振動に...

一番キモチイイピストン運動の速度...

ほらほらもうイキ過ぎて頭おかしくなるだろ?

そのまま思う存分にイキ果てて...



母乳もせーんぶ
出し切ろうねえ ♡





ひびき...

かき...

ひびき...

